

# STUDY ABROAD

Handbook for Study Abroad 2024



SOPHIA UNIVERSITY

留学ハンドブック 2024

上智大学 グローバル教育センター

# 学生留学委員会委員長からのメッセージ

Message from Chairperson of the Sophia Student Exchange Committee



学生留学委員会委員長 森下 哲朗 教授

Professor Tetsuo Morishita

Chairperson of the Sophia Student Exchange Committee

グローバル化推進担当副学長／法学部教授

Vice President for Global Academic Affairs/ Professor, Faculty of Law

上智大学に入学することが決まったとき、在学中に留学したいと考えていた方は多いのではないのでしょうか。外国の大学でなければ学べないものを学ぶため、日本から飛び出して視野を広げるため、日本とは違う社会や文化に触れるため、様々な国の人と繋がるため、語学を磨くためなど、各々の理由があると思います。そうした皆さんの留学に対する気持ちに応えられるよう、上智大学では、様々なタイプの留学プログラムを用意しています。異文化理解や多文化共生が課題となっている今日において、実際に自分が普段いる環境から飛び出し、違う世界、知らない世界を実感することは、とても重要なことです。今後の国際社会はますますグローバル化し、複雑化していくことでしょう。上智大学で学ぶ皆さんには、グローバルな視野とローカルな視点を持ち、新しいグローバル社会に貢献できるような人材になって頂きたいと願っています。

交換留学協定校も63カ国335校（2024年3月現在）に及びます。この充実した留学プログラムを活用して、毎年、300名以上の方が1学期または1年間の交換留学を経験してきました。また、毎年500名以上の外国人留学生が交換留学生として上智大学で学んでいます。また、オンラインでのコミュニケーション・ツールの活用も広がっており、実際に海外に行かなくても、様々な国の方々と繋がったり、外国の大学の教育プログラムに参加したりすることも容易になってきています。こうした多様な学びの機会を活用していただき、より一層グローバル化した社会で活躍するため、自分自身を磨いていただきたいと思います。

留学を爽り多いものにするためには、様々な準備が必要です。このハンドブックには、皆さんが留学を考えたときに、何から始めたら良いかがわかるように、各種留学プログラムの紹介や事前の準備、入学から留学を経て卒業するまでの道筋や規則などがわかりやすく書かれています。これらを手がかりに、今のうちからしっかりと準備をしていただければと思います。留学をきっかけに、上智大学での自身の目標や進路、達成したいことなどを見つめなおすことにも大きな意味があります。大学は様々なことに挑戦し、自分を成長させる場です。ぜひ、グローバルなフィールドでの学びにチャレンジしてください。

# CONTENTS 目次

Regarding items marked with “\*”, there are brief explanations in English from P.62 for students in English-taught undergraduate / graduate programs.

## 学生留学委員会委員長からのメッセージ

Message from Chairperson of the Sophia Student Exchange Committee	1
2024年度イベントカレンダー Event Calendar 2024	4
数字で見る上智大学の留学 Study Abroad at Sophia in Numbers	6
留学モデルケース	8
Q&A	10

## 第Ⅰ部 上智大学での留学 Study Abroad at Sophia University

A. 留学を決める前に Before Deciding to Study Abroad	13
B. 留学を決めたら Preparation for Study Abroad	14
C. 情報収集 Collecting Information	15
D. 上智大学での留学の種類 Study Abroad Programs at Sophia University	18
(1) 長期留学 Long-Term Study Abroad	20
① 交換留学 Sophia Exchange Program	
② 一般留学 General Study Abroad	
③ 休学留学 Studying Abroad during Leave of Absence	
④ インターンシップ科目(長期) Internship Courses (Long-Term)	
(2) 短期留学 Short-Term Study Abroad	21
① 海外短期語学講座 Overseas Short-Term Language Programs	21
② 海外短期研修 Short-Term Study Abroad Programs	23
③ 実践型プログラム Social Engagement Programs	25
④ インターンシップ科目(短期) Internship Courses (Short-Term)	27

## 第Ⅱ部 交換留学 Sophia Exchange Program

1. 交換留学出願手続等 Application Procedures for Sophia Exchange Program*	
A. 募集時期 Application Schedule*	29
B. 出願および留学資格 Eligibility and Requirements*	30
C. その他出願の留意点 Notes of Importance*	31
D. 出願に必要な書類 Application Materials*	32
E. 選考方法 Selections*	32
F. 交換留学学内選考試験合格後の手続き Procedures After Internal Selection*	32
G. 交換留学時に見込まれる費用 Estimated Costs for Exchange Program	33
2. 目的に合わせた交換留学プログラム Exchange Programs with Specific Purposes	
A. 英語集中コース Intensive English Course	34
B. Sophia AIMS (SAIMS) プログラム Sophia AIMS (SAIMS) Program	36
C. Latin America Program (LAP)	37

D. 3キャンパス枠交換留学(上智大学・西江大学・香港城市大学) 3キャンパス東アジア地域研究国際共同プログラム Three-Campus East Asian Studies by Sophia University, Sogang University, City University of Hong Kong	38
E. Graduate Institute (スイス・ジュネーブ) との3+2プログラム 5-year Concurrent BA-MA Programme with Graduate Institute	38
F. MAGIS 交換留学 MAGIS Student Exchange Program	39

## 第Ⅲ部 大学院生の留学 Study Abroad Program for Graduate Students

1. 在学中の留学(交換留学) Study Abroad Programs at Sophia University	41
2. 海外大学院特別進学制度 Special Admission Program for Overseas Graduate Schools*	42

## 第Ⅳ部 長期留学に関する規則 Regulations for Long-Term Study Abroad

A. 留学の資格 Eligibility of Study Abroad	45
B. 留学の期間 Duration of Study Abroad	45
C. 留学の延長または取消し Extension or Withdrawal of Study Abroad	45
D. 留学前後の手続一覧 List of Procedures Before and After Study Abroad	46
E. 履修登録について Course Registrations	46
F. 単位換算について Credit Transfer*	47

## 第Ⅴ部 留学に必要な準備 Preparation for Study Abroad

1. 留学中の留意点 Things to Remember During Study Abroad	
A. 危機管理 Crisis Management	52
B. 海外留学保険および危機管理サービスへの加入義務について Compulsory Study Abroad Insurance and Safety Management Service*	54
C. メンタルヘルスについて Mental Health	55
2. 留学のための語学能力試験 Language Proficiency Tests for Study Abroad	
A. TOEFL iBT® テストについて Information on TOEFL iBT®	56
B. IELTS について Information on IELTS	57
3. 留学費用について Costs of Study Abroad	
A. 滞在費について Living Expenses	58
B. 海外勉強中の上智大学学費について Sophia Tuition During Study Abroad	58
C. 奨学金について Scholarships	59

General Information on Study Abroad for Students in English-taught Undergraduate / Graduate Programs*	62
---	----

交換留学協定校一覧 Information on Exchange Partner Institutions	72
--	----

# 2024年度イベントカレンダー

※世界の情勢に応じて変更となる可能性があります。最新の情報はLoyola掲示板や大学からのお知らせを確認

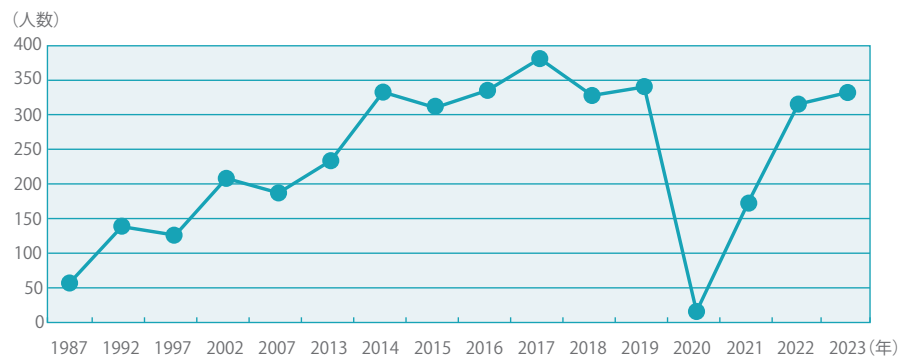
してください。

	年	2024												2025			
		学期		春学期					秋学期					春学期			
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6以降	
長期留学	交換留学 SAIMS・LAP 英語集中コース 3キャンパス (秋のみ)	春 (2025年2月～ 3月出発)	募集要項公開 (Loyolaダウンロードセンター)		6月初旬 6月下旬 7月	願書受付 面接 合否発表 合格者ガイダンス						渡航前 オリエン テーション	2月～3月出発				
	※MAGISは スケジュール が異なります。	秋 (2025年8月～ 9月出発)			募集要項公開 (Loyolaダウンロードセンター)		募集説明会		募集説明会		10月初旬 11月 12月	願書受付 面接 合否発表 合格者ガイダンス				渡航前 オリエン テーション	8～9月 出発
	インターン シップ科目 (長期)	春	実習(前年度募集)					事後講義		申込受付・選考 履修者決定		ガイダンス・事前講義			実習		
	※実習先(国 内・海外)に よって異なる 【右記は一例】	秋	申込受付・選考 履修者決定		ガイダンス・事前講義		実習					事後講義					
短期留学	海外短期 語学講座 海外短期研修	休暇中 プログラム	4月下旬 夏期プログラム 申込受付	ガイダンス・事前講義		プログラム実施					10月中旬 春期プログラム 申込受付	ガイダンス・事前講義		プログラム実施			
	実践型 プログラム	休暇中 プログラム	5月上旬 夏期プログラム 申込受付	ガイダンス・事前講義		プログラム実施					11月上旬 春期プログラム 申込受付	ガイダンス・事前講義		プログラム実施			
	インターン シップ科目 (短期)		募集要項公開 (Loyola掲示板)・ 申込受付		選考・ 履修者 決定	ガイダンス・ 事前講義	実習		事後講義		募集要項公開 (Loyola掲示板)・ 申込受付		選考・ 履修者 決定	ガイダンス・ 事前講義	実習		事後講義

# 数字で見る上智大学の留学

交換留学派遣者数：338名（2023年度）※英語集中コース、LAP、SAIMS等のプログラム含む  
 上智大学では、毎年多くの学生が交換留学制度を利用して長期間の留学に飛び立っています。協定校も全世界に幅広く広がっているため、学生それぞれのレベルや目的に応じて留学先を選択することが可能です。

※2020、2021年度は新型コロナウイルス感染症拡大により、留学派遣者数は大幅に減少しました。



海外短期語学講座参加者数：312名（2023年度）



海外短期研修参加者数：99名（2023年度）



実践型プログラム参加者数：124名（2023年度）



インターンシップ科目（短期）参加者数：20名（2023年度）※7名はオンラインプログラム参加

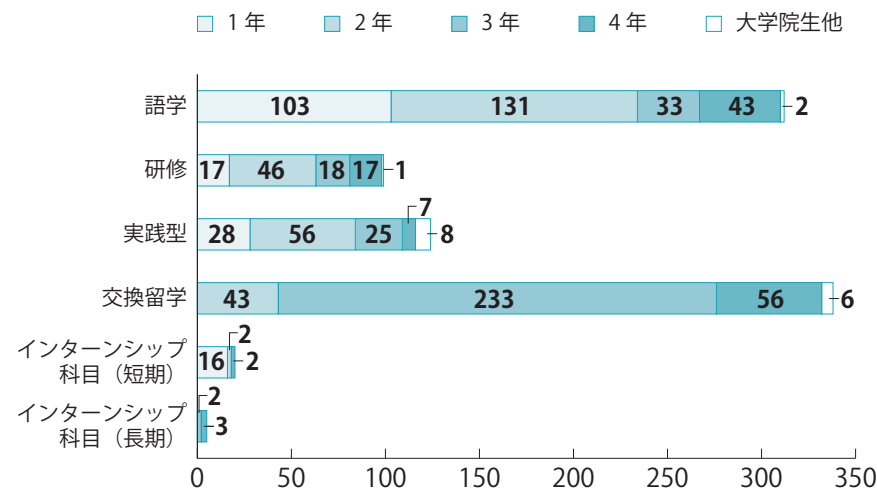


インターンシップ科目（長期）参加者数：5名（2023年度）※2名はオンラインプログラム参加

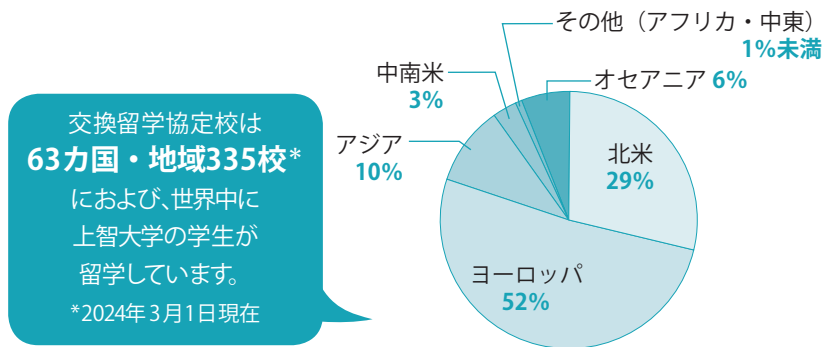


上記留学プログラムの他、ドイツ語学科・ドイツ文学科在外履修制度により海外で学ぶ学生もいます。また、海外の大学の授業とオンラインで連携するCOIL型授業でも、多くの学生が授業内で海外の学生と協働学習しています。

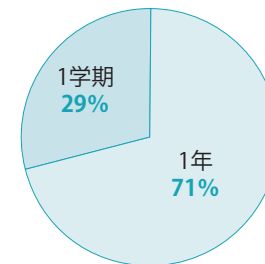
留学年次（2023年度）



留学地域（2023年度）※交換留学



留学期間（2023年度）※交換留学



# 留学モデルケース

春：春学期 秋：秋学期

◆3年次春学期から交換留学（1学期間） ①>交換留学に参加したいけれど、4年間での卒業を考えており、3年次秋は国内で

<b>情報収集</b> （留学ガイダンス・留学フェア等） →交換留学に行ってみよう、1年・2年次は上智大学での学びも重視したい →現段階ではまだ留学に行くか迷っている	3年次春から1学期間の交換留学を決意！ ・TOEFL iBT®等、語学の勉強 ・留学先大学の検討 ・必修科目の単位を着実に修得	<b>交換留学学内選考</b> 出願・面接→合格	渡航に向けた準備 ・オリエンテーション ・先輩・留学先からの情報収集 ・留学準備講座の履修等
春	秋	春	秋
1年次		2年次	

◆短期プログラム+3年次秋学期から交換留学（1年間） ②>短期留学と長期留学、両方経験してみたい

<b>情報収集</b> （留学ガイダンス・留学フェア等） →短期留学、交換留学両方に行ってみよう	<b>海外短期語学講座（英語圏）へ参加</b> →初めての海外での学び。楽しかった →より長い期間滞在したいと思った	3年次秋から1年間の交換留学を決意！ ・TOEFL iBT®等、語学の勉強 ・留学先大学の検討	<b>交換留学学内選考</b> 出願・面接→合格
春	秋（春期休暇中）	春	秋
1年次		2年次	

◆SAIMS/LAP+交換留学 ③>特殊な交換留学プログラムに興味がある ④>2回交換留学してみたい（\*）

<b>情報収集</b> （留学ガイダンス・留学フェア等） →早い段階で交換留学に行ってみよう →特殊な交換留学プログラムに参加してみよう 2年次秋から1学期間の交換留学（SAIMSプログラム）を決意！ ・TOEFL iBT®等、語学の勉強 ・留学先大学の検討	<b>交換留学（SAIMS）学内選考</b> 出願・面接→合格	渡航に向けた準備 ・オリエンテーション ・先輩・留学先からの情報収集 ・SAIMSプログラムで上智に交換留学中の学生との交流 ・事前履修推奨科目の受講	<b>1学期間のSAIMS留学へ！</b> （8～9月出発→12～1月頃帰国） ・東南アジアの言語、文化、経済などを学ぶ →帰国後、もう一度、別の留学先へ交換留学してみよう
春	秋	春	秋
1年次		2年次	

\* 通常、交換留学は在学中1人1回のみ参加可能ですが、以下のようにプログラムを組み合わせる場合は、最大2回まで  
 ①LAP+交換留学 ②SAIMSプログラム+交換留学 ③SAIMSプログラム+LAP

◆短期プログラム+インターンシップ（短期）+交換留学 ⑤>将来は国際公務員を目指しており、大学でのプログラムを活

<b>情報収集</b> （留学ガイダンス・留学フェア等） →大学のプログラムを思う存分活用し、卒業後の進路を見据えて計画したい →履修計画と留学計画を綿密にリンクさせ、学びを深めたい	<b>国連集中研修に参加</b>	国際協力に関する講義を履修し学びを深める グローバルインターンシップ（短期）国際協力分野出願・合格・履修	<b>交換留学学内選考</b> 出願・面接→合格
春	秋（春期休暇中）	春（夏期休暇中）	秋
1年次		2年次	

※注：ここに掲載されたモデルケースはあくまで一例ですので、留学の種類やタイミング、留学期間については各自の状況

就職活動をしたい ⑥>必修も多く卒業論文も必須の学科。留学も上智大学での授業履修も両方重視したい。

<b>1学期間の交換留学へ！</b> （2～3月頃出発→5～6月頃帰国） ・帰国後、余裕をもって就職活動開始 ・卒業までの履修計画を検討	企業の説明会やインターンに参加 ・卒業に必要な単位を修得	学内選考 卒業論文完成 →卒業
春	秋	春秋
3年次		4年次

⑦>長期留学の前に、短期留学で自信をつけたい

渡航に向けた準備 ・オリエンテーション ・先輩・留学先からの情報収集 ・留学準備講座の履修等	<b>1年間の交換留学へ！</b> （8～9月頃出発）	帰国（5～6月頃） →卒業を1年のばし、余裕をもって就職活動や卒業論文を作成することを決意	就職活動 ・卒業までの履修計画を検討	学内選考 卒業論文完成 →卒業
春	秋	春	秋	春秋
3年次		4年次		5年目

4年次春から1学期間の交換留学を決意！ ・TOEFL iBT®等、語学の勉強 ・留学先大学の検討	渡航に向けた準備 ・オリエンテーション ・先輩・留学先からの情報収集 ・留学準備講座の履修等	<b>1学期間の交換留学へ！</b> （2～3月頃出発→5～6月頃帰国） ・今度はオセアニアに留学し、専門科目を中心に学ぶ	帰国後、すぐに就職活動開始 ・卒業に必要な単位を修得 →卒業
春	秋	春	秋
3年次		4年次	

参加することができます。ただし、修業年限に算入する期間は1年間を上限とします。

⑧>用いて夢を叶えたい ⑨>国際関係、国際協力分野に興味があり、交換留学にもインターンシップにも参加してみたい

国際協力に関する講義を履修し学びを深める 渡航に向けた準備 ・オリエンテーション ・先輩・留学先からの情報収集 ・留学準備講座の履修等	<b>1年間の交換留学へ！</b> （8～9月頃出発） ・国際協力・開発に関する科目を中心に履修	帰国（5～6月頃）後、就職活動 →就活を通して、企業活動を通じた国際貢献に関心をもつ 「グローバルインターンシップ（長期）」出願・合格・履修	<b>グローバルインターンシップ（長期）履修</b> 独立行政法人でインターン 卒業前に、企業の海外展開のあり方を学ぶ	卒業後… 企業で職務経験を積んだあと、海外の大学院へ進学したい 国際公務員を目指したい
春	秋	春	秋	
3年次		4年次		

に合わせて計画を立てましょう。各留学プログラムの詳細はP.18～をご覧ください。



ここでは、留学についてよくある質問をまとめています。  
まずはこのページを読んで確認をしてください。

## 1. 留学全般について

Questions	Answers
留学にはどのような種類がありますか？	留学は大きく分けて、 <u>長期留学</u> （1学期または1年間）と <u>短期留学</u> （長期休暇期間を利用した数週間程度の短期プログラム）があります。また、長期留学には、 <u>交換留学</u> と <u>私費留学</u> （ <u>一般留学・休学留学</u> ）があります。種類により、選考手続き、単位換算の有無、4年間での卒業が可能かどうか等が変わってきますので、比較検討してみてください。（詳細はp.18～へ）
留学についての情報はどこで入手できますか？	上智大学の留学プログラムについては、主に「PROGRAM GUIDE」と「留学ハンドブック」（上智大学HP [web piloti] からダウンロード可）を参照してください。また、各プログラムの出願要件や情報、先輩学生の留学体験レポートは、 <u>Loyolaのダウンロードセンター</u> （グローバル教育センター）に随時掲載しています。 どの大学でどのような分野の勉強ができるかは各大学の公式サイトで確認してください。 留学に関する一般的な情報は、各国大使館や学外団体のWebサイト等（p.17記載）も参考になりますので、見るようにしましょう。
留学に行きたいのですが、どこから準備を始めたらいかがかわかりません。	留学準備の初期段階にいる皆さんは、留学カウンセリング制度をぜひご利用ください。留学に関する様々な相談ができます。（詳細はp.15へ） また、各種プログラムの出願に関する詳細についてはグローバル教育センター窓口でも随時受け付けています。
留学についての説明会はいつ実施していますか？	上智大学の留学プログラム全体についての説明会は、各学期の初め（4月・9月下旬）に実施しています。また、交換留学や短期・実践型プログラムについては、募集前に説明会を別途開催しています。開催日時については、随時Loyola掲示板やX（旧Twitter）等でご案内しますので確認してください。

## 2. 交換留学について

Questions	Answers
交換留学に行くための条件は？	GPAが2.8以上あること、留学を希望する大学の語学要件等を満たすこと、英語での出願はTOEFL iBT <sup>®</sup> のスコアを提出すること（イギリスはIELTSのスコアも必要）（※いずれも有効期限内のもの）、学科長・保証人の承諾があること、心身ともに健康であること、が最低限の条件となります。 詳細は「第Ⅱ部 交換留学」（p.29～）の頁を参照してください。各協定校の語学要件は、Loyolaダウンロードセンターにて過年度の情報を参照してください。
交換留学先大学で取得した単位は、卒業に必要な単位として換算されますか？	留学先で取得した単位は上限30単位まで換算することができますが、履修した全ての科目について認められるわけではありません。どのような科目が換算されるのか、事前に所属学科に相談してください。ただし、実際に何単位換算されるかは帰国後に所定の手続きを経たうえで決定されます。（詳細はp.47～へ）
出発前に受入留学生と交流できる機会や、帰国後学内でできる活動はありますか？	例えば、第2クォーターの期間中に海外からの大学生を対象としたサマーセッションが開講されます。世界中からの留学生と一緒に日本の文化、経済、政治、社会について学ぶことができます。サマーセッションは第2クォーター開始前に特別な履修登録期間が設けられます。 詳細は4月以降にLoyola掲示板を確認してください。 この他、海外からの交換留学生をサポートするボランティア活動に参加することもできます。登録はグローバル教育センター窓口で受け付けています。
留学のための奨学金はありますか？	学内の奨学金や日本学生支援機構の奨学金等、様々な奨学金があります。家計基準や留学先等で条件が異なりますので、詳細を確認のうえ出願してください。（p.59～参照）
留学すると就職活動にどのように影響しますか？	就職活動の時期等は、キャリアセンターにご相談ください。（p.16参照）

※Loyola掲示板は「留学関係」で検索するとグローバル教育センターの情報が見つけやすいです。



## 第 I 部 | 上智大学での留学

part 1. Study Abroad at Sophia University

### 大学の海外渡航方針

#### 【海外渡航条件について】

上智大学では、各種留学プログラムにおいて、学生の皆さんを安全に派遣できることを最優先事項とし、以下の条件を定めています。

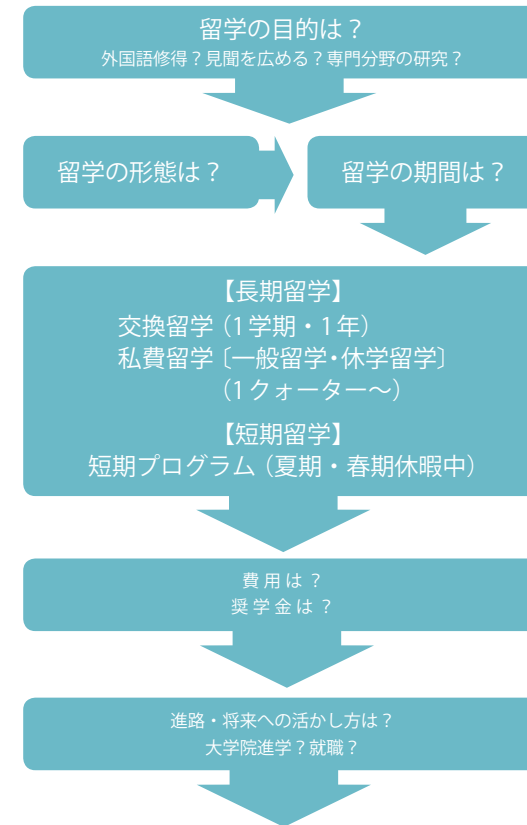
#### 《海外への渡航が許可される最低限の条件》

- ・外務省の海外安全・感染症危険レベルが1以下となること (p.52～も参照)
- ・渡航予定の国において日本からの入国・滞在制限がなく、渡航に支障がないこと
- ・信頼できる受入先があり、留学先大学から受入の許可が出ること
- ・渡航に際して上智大学から許可を得られること

このハンドブックに記載されている各種プログラムやスケジュールは、年度当初の予定で記載されており、今後の状況によって変更が生じる可能性があります。そのため、必ずご自身で最新の情報を Loyola、大学HP、ガイダンス等で確認してください。

## A 留学を決める前に

留学には様々な形態や期間のものがあります。決める前に自分の優先順位を整理してみましょう。



留学の形態や内容により、本学での単位換算の可否や留学期間の修業年限への算入の可否が異なります。また、留学中の授業料や生活費など経済的な準備も欠かせません。留学時期によっては、就職活動と留学期間が重なったり卒業時期が延びたりする場合がありますが、様々な選択肢や機会を活用することで、十分な有意義な学生生活を送ることができます。

留学に行くことで想定される様々なケースについて熟考し、海外に行くことを決断する前に、もう一度「いつ、何をどんなふうにも勉強したいか」と「留学経験をその後どのように活かしていきたいか」等、自身のキャリアプランを描き、判断してください。



## B 留学を決めたら

留学することを決めたら、準備や手続きの確認に入りましょう。海外の学校への出願やビザの取得など、留学手続きには思っている以上に時間と労力がかかります。留学を決意したら、希望留学先への入学時期などを調べ、逆算してスケジュールを立ててください。プログラムの形態にもよりますが、長期で留学する場合、出願資格を満たすための語学試験受験のため、出発の1年半～2年前くらいから準備する必要があります。春期・夏期休暇中のプログラム参加にも、約4カ月前の申込が必要です。

### 準備 出発の1年半～2年前

#### Step 1：留学形態の決定

- 留学の目的を明確化・留学形態の決定
- 申込時期の確認
- 十分な資金があるか家族に相談、奨学金情報の収集
- 卒業時期はどうするか、留学と将来の関連性を考える

#### Step 2：留学先選択

- 一般的な留学情報や希望する国・地域、大学の情報収集
- 希望留学先の絞り込み
- 出願条件確認、語学試験の受験
- (私費留学) 留学先の申込書類取り寄せ
- (交換留学、一般留学) 所属学科長に相談

#### Step 3：出願

- (交換留学) 出発の概ね1年前に学内選考出願
- 願書その他必要書類を締切りまでに留学先大学へ送付

#### Step 4：留学先大学への入学手続き

- パスポート取得、期限確認
- 入学許可書類の受け取り
- 宿舍手配
- 諸費用の支払い

#### Step 5：渡航準備

- 予防接種
- ビザ取得
- 航空券・上智大学指定海外留学保険・危機管理サービスの加入手配
- 「留学願(交換留学・一般留学)」「休学願(海外勉学)」等を上智大学に提出

P.4-5に2024年度にグローバル教育センターで取り扱っている各種プログラムのスケジュールを掲載しています

出発

## C 情報収集

### [学内での情報収集]

海外留学の実現には、まず手続きの流れや必要な要件、資料等の情報収集が欠かせません。留学準備のための情報収集手段として、学内では下記の窓口等にてサポートを行っています。(窓口時間は変更の可能性があります。最新の情報を随時Loyola掲示板(「留学関係」で検索)や大学のHPで確認してください。)

#### (1) グローバル教育センター

窓口時間内にいつでも相談できますので、質問のある場合には、気軽にお問合せください。

交換留学(派遣・受入)

海外短期プログラム(語学講座・短期研修・実践型プログラム)

留学カウンセリング、上智大学海外渡航支援制度、その他国際交流プログラム  
インターンシップ科目

グローバル・コンピテンシー・プログラム(GCP)

その他グローバル教育センター開講科目

Sophia Short-term Programs (Summer Session等)

#### (2) Loyola ダウンロードセンター

交換留学・短期プログラムの帰国レポートや募集要項、交換留学協定校のInformation Sheetなどを確認することができます。  
Loyola > ダウンロードセンター > [グローバル教育センター] フォルダ内

#### (3) 留学カウンセリング制度

留学に関するあらゆる質問に専門の留学カウンセラーがお答えします。特に、一般留学や休学留学など、自身で一から情報収集する必要のある留学制度を利用する学生にお薦めしています。

予約・問合せは以下のメールアドレス・QRコードまで。

goabroad-ofc@sophia.ac.jp



〈カウンセリング時間枠〉月～金(祝日、大学の休日を除く)

- |                                |                       |
|--------------------------------|-----------------------|
| ① 10:30 - 11:00 (30分)          | ④ 14:30 - 15:00 (30分) |
| ② 12:40 - 13:20 (40分) *グループ相談可 | ⑤ 15:25 - 15:55 (30分) |
| ③ 13:45 - 14:15 (30分)          | ⑥ 16:05 - 16:35 (30分) |

※予約優先ですが、空きがあれば随時対応します。最新の情報は、グローバル教育センター窓口またはグローバル教育センターX(旧Twitter)で確認してください。

#### (4) キャリアセンター

キャリアセンターでは、就職活動や進路に関する様々な相談を受け付けています。個別相談は、例年約4,000人の学生が利用しています。簡単な質問であれば窓口でも対応しています。

留学と就職の関連など、気になることがあればキャリアセンターにお問い合わせください。

キャリアセンター 開室時間： 月～金 10:00～16:30  
(11:30～12:30は資料閲覧のみ)  
※授業期間外は変更あり

また、留学を検討している／留学が決まっている／語学力や留学経験を活かしてグローバルに活躍したいと考えている学生の皆さんを対象に、以下の就職支援プログラムを開催しています。

- ・〈留学検討者対象〉就職活動ガイダンス
- ・留学と就職活動：体験報告会
- ・海外キャリアフォーラムガイダンス
- ・英語によるキャリアフェア
- ・語学力を活かして働く卒業生に仕事や働き方についてお話してもらうセミナー等

プログラムの開催日程・詳細や個別相談の申し込み方法は、「Loyola>就職・キャリア支援>WEBキャリアセンターはこちらから」で確認してください。

同サイトの「グローバル×キャリア」ページも確認してください。

#### [学外での情報収集]

学外における情報収集の一例として、下記のサイトを見てもみるのも良いでしょう。

	内容	リンク先
独立行政法人 日本学生支援機構 (JASSO)	主要国全般および留学基本情報	<a href="https://ryugaku.jasso.go.jp/">https://ryugaku.jasso.go.jp/</a>
文部科学省 トビタテ！留学JAPAN	留学に関わる奨学金、留学準備・体験談、留学後の就職についてなど	<a href="https://www.tobitate-mext.jasso.go.jp/">https://www.tobitate-mext.jasso.go.jp/</a>
各国の大使館	各国の現地安全情報等	-
一般社団法人 留学サービス審査機構	第三者団体から認証を受けた留学サービス事業者の確認が可能	<a href="http://www.jcross.or.jp/">http://www.jcross.or.jp/</a>

## D 上智大学での留学の種類

### 学部生

本学での名称	留学先	期間	諸手続き	*学費	単位の換算	留学中の身分 (学籍上の扱い) / 4年間での卒業	人数 (2023年度)	参照ページ
交換留学	本学と交換協定のある335大学	1年 または1学期	個人/ 入学許可取得に係る手続きはグローバル教育センターの補助あり  (学内選考あり)	上智大学にのみ納入	30単位まで認定可能	留学/可	324	P.29
交換留学 (SAIMS)	本学指定のアジアの協定校	1学期					0	P.36
交換留学 (LAP)	本学との提携校である中南米諸国6カ国13大学	1年 または1学期					2	P.37
交換留学 (3キャンパス)	西江大学、香港城市大学	各大学1学期、計1年					1	P.38
交換留学 (MAGIS)	MAGISコンソシアム加盟校	1学期					0	P.39
交換留学 (英語集中コース)	本学指定の協定校	1学期					11	P.34
一般留学	学位授与権があり、事前に学科長が許可した大学	1クォーター～2年	個人で行う	上智大学および留学先大学に納入	30単位まで認定可能	留学/～1年留学の場合可	7	P.20
海外短期語学講座	協定校等が主催する本学指定の講座	3週間～5週間 (夏期・春期休暇中)	グローバル教育センター	実費要	語学科目として単位付与可能	在学のまま/可	312	P.21
海外短期研修	協定校等にて実施する本学指定の研修	2週間～6週間 (夏期・春期休暇中)	グローバル教育センター (選考あり)		全学共通科目(選択科目)または学科科目として単位付与・認定可能(※1)		99	P.23
実践型プログラム	協定校等と実施する本学指定のプログラム	1週間～3週間 (夏期・春期休暇中)			全学共通科目(選択科目)の単位付与可能		124	P.25
インターンシップ科目(長期)	本学と協定のある実習先	3～5ヶ月 (春・秋学期中)	グローバル教育センター (選考あり)		6単位(全学共通科目)		5	P.20
インターンシップ科目(短期)	本学と協定のある実習先	2～6週間 (夏期・春期休暇中)	グローバル教育センター (選考あり)	2単位(全学共通科目)	20	P.27		
休学による海外勉学	個人が決定。ただし、学科長の指導要。		個人で行う	上智大学学費は減免措置あり	不可	休学/不可	196	P.20

※1: 科目の開講元や学生の所属により、認定できる区分が異なるので、履修要覧や各プログラムの案内をよく確認すること。

### 大学院生

本学での名称	留学先	期間	諸手続き	*学費	単位の換算	留学中の身分 (学籍上の扱い)	参照ページ
交換留学	本学と交換協定のある335大学	1年 または1学期	個人/ 入学許可取得に係る手続きはグローバル教育センターの補助あり (学内選考あり)	上智大学にのみ納入	大学院での修得単位は10単位まで認定可能 (学部科目は認定不可)	留学	P.29 / P.41
交換留学 (LAP)	本学との提携校である中南米諸国6カ国13大学						P.37
一般留学	学位授与権があり、事前に専攻主任が許可した大学	1クォーター～2年	個人で行う	上智大学および留学先大学に納入 (奨励費の支給有)			P.20
海外短期研修	協定校等にて実施する本学指定の研修	1週間～6週間 (夏期・春期休暇中)	グローバル教育センター (選考あり)	実費要	理工学専攻のみ可	在学のまま	P.23
実践型プログラム	協定校等と実施する本学指定のプログラム	1週間～3週間 (夏期・春期休暇中)			国際協力学専攻のみ可(※1)		P.25
休学による海外勉学	個人が決定。ただし、専攻での指導要。		個人で行う	上智大学学費は減免措置あり	不可	休学	P.20

※1: 他研究科・他専攻の学生もプログラムへの参加は可。他研究科の学生は、履修登録時に指導教員・専攻主任の許可を得て自専攻の修了単位に認定する手続きをとれば修了単位に算入できる。

上記の他、インターンシップ科目については、実習先により大学院生の参加が認められるプログラムがあります。大学院生で参加を希望する場合は、事前に相談すること。



本学学費の詳細については、本学公式HPの学費に関するページを参照。

## (1) 長期留学

### ① 交換留学

対象：2年次以上（学内選考への応募は1年次の2学期目から可能な場合も有り）  
第Ⅱ部「交換留学」を参照ください。

### ② 一般留学 対象：2年次以上

学位授与権のある大学に、事前に所属学部長・学科長の許可を受けて留学するものです。留学先は自由に選べますが、留学手続きはすべて個人で行い、学費も本学と留学先大学の双方に納入する必要があります。協定校以外の大学については、各国の留学情報を提供する機関の情報を利用するとよいでしょう。学位授与権のある大学であっても、Extension Centerや大学を会場としているだけの公開講座などは対象となりません。また、語学学校等の専門学校は原則として一般留学の対象になりません。特に、大学の関連機関が実施する授業等、大学併設であっても、大学の授業との分別が難しい場合があります。留学前に履修を希望するプログラムや科目等の詳細について、あらかじめ関連資料を持参のうえ、質問・相談内容に応じて、所属学部長、学事センター、グローバル教育センターに確認するようにしてください。

留学先の選定や履修計画に関する質問・相談：所属学科  
単位換算、一般留学願提出に関する質問・相談：学事センター  
一般留学の制度に関する質問・相談：グローバル教育センター

### ③ 休学留学 対象：全年次

本学を休学して海外勉強するもので、留学先の制限はありません。休学期間の授業料は減額されますが、休学期間は修業年限に算入されないため、4年間で卒業することはできません。本学休学中に留学先で単位を取得しても、本学での単位認定はできません。

### ④ インターンシップ科目（長期） 対象：3年次以上（実習先により異なる）

上智大学と協定を結んだ国際機関やグローバル企業等において3～5カ月インターンシップ（就業体験）をし、事前・事後の講義受講や課題提出を行うことで全学共通科目（選択科目）の単位が付与されます。学生は、グローバルビジネスや国際協力の現場に身を置くことで、その構造、意義、課題を認識し、当該分野への理解を深め、実践的な課題解決能力を身につけることができます。長期におよぶインターンシップの現場では、常に主体的、積極的に学ぶ姿勢が求められ、座学だけでは身につけることが難しい経験を得ることができます。長期は春・秋学期中にそれぞれ設定されています。

・対象科目：「Sophia GED グローバルインターンシップ」、「グローバルインターンシップ（長期）」

## (2) 短期留学

短期留学は、夏期・春期休暇期間中に実施するもので、「海外短期語学講座」「海外短期研修」「実践型プログラム」「インターンシップ科目（短期）」の4カテゴリーに分かれます。

### ① 海外短期語学講座

本学の交換留学協定校等の付属語学学校が主催する語学講座に参加し、語学力向上を図るプログラムです。

各プログラムは本学の開講科目として取り扱われ、事前指導に全て参加し、留学先で所定の成果を修めた者には、語学科目の該当言語科目2単位が付与されます。付与単位の評価は“P”となります。付与される単位が卒業要件に算入されるか否かについては履修要覧を確認してください。大学院生も参加ができますが、付与される単位は修了要件には含まれません。

### 夏期休暇中開講

■募集説明会：4月上旬～中旬

■申込受付期間：2024年4月下旬

正式な日程はLoyola掲示版（留学関係）をご確認ください。

### ■コース一覧

※「概算費用」は前回の費用を基にした目安であり、支払い時の為替レート等により変動します。  
※付与単位数はいずれも2単位です。

大学名	国名	学習言語 (単位付与領域)	授業期間 (前回実績) / 滞在形態	概算費用 (万円)	2023年度 参加者数 (人)
カリフォルニア大学 デービス校	アメリカ	英語	8月11日～9月18日 (4週間)	89	17
			ホームステイ		
ノースカロライナ大学 シャーロット校	アメリカ	英語	8月26日～9月14日 (3週間)	99	19
			学生寮		
プリティッシュ・コロ ンビア大学	カナダ	英語	8月8日～8月25日 (3週間)	74	12
			ホームステイ		
マギル大学	カナダ	英語	8月6日～8月28日 (3週間)	93	催行なし
			学生寮		
マンチェスター大学	イギリス	英語	8月14日～9月8日 (4週間)	74	20
			学生寮		
オークランド大学	ニュージーランド	英語	8月14日～9月8日 (4週間)	74	20
			ホームステイ		
フライブルク大学	ドイツ	ドイツ語	8月3日～8月25日 (3週間)	53	14
			学生寮		
フランシュ・コンテ大学	フランス	フランス語	7月31日～8月25日 (4週間)	64	14
			ホームステイ		
コインブラ大学	ポルトガル	ポルトガル語	8月29日～9月15日 (3週間)	73	12
			ホテル		

大学名	国名	学習言語 (単位付与領域)	授業期間(前回実績) / 滞在形態	概算費用 (万円)	2023年度 参加者数 (人)
ペルージャ外国人大学	イタリア	イタリア語	8月6日～8月30日(4週間) 学生寮	96	催行なし
香港中文大学*1	中国	中国語 (北京語)	8月7日～8月25日(3週間) 学生寮	25	6
延世大学*2	韓国	コリア語	8月6日～8月27日(3週間) ホテル	30～40	2024年度 新規開講
韓国外国語大学	韓国	コリア語	7月31日～8月25日(4週間) ホテル	38	19

\*1 交換協定に基づき実施されるため授業料は免除。ただし、2019年度以前に入学した国際教養学部生が海外短期語学講座に参加し、単位付与を希望する場合には、単位数分の授業料が発生します。  
\*2 2024年度新規開講プログラム。授業期間、概算費用は暫定情報です。

**春期休暇中開講**

■募集説明会：10月上旬

■申込受付期間：2024年10月中旬

正式な日程はLoyola掲示版(留学関係)をご確認ください。

**コース一覧**

※「概算費用」は前回の費用を基にした目安であり、支払い時の為替レート等により変動します。  
※付与単位数はいずれも2単位です。

大学名	国名	学習言語 (単位付与領域)	授業期間(前回実績) / 滞在形態	概算費用 (万円)	2023年度 参加者数 (人)
カリフォルニア大学 デービス校	アメリカ	英語	2月16日～3月15日(4週間) ホームステイ	90	11
ブリティッシュ・ コロンビア大学	カナダ	英語	2月26日～3月22日(4週間) ホームステイ	86	20
マギル大学	カナダ	英語	2月26日～3月22日(4週間) ホームステイ	80	18
ウーロンゴン大学	オーストラリア	英語	2月26日～3月22日(4週間) ホームステイ	63	15
クイーンズランド大学	オーストラリア	英語	2月12日～3月15日(5週間) ホームステイ	85	15
オークランド大学	ニュージーランド	英語	2月12日～3月8日(4週間) ホームステイ	73	20
オタゴ大学	ニュージーランド	英語	2月15日～3月15日(4週間) ホームステイ	71	15
アンジェ西カトリック大学	フランス	フランス語	2月5日～3月1日(3週間) ホームステイ	75	19
バルセロナ自治大学	スペイン	スペイン語	2月5日～3月1日(3週間) ホームステイ	66	11
北京大学 (2019年度実績)	中国	中国語	2月25日～3月22日(4週間) 学生寮	40	催行なし
韓国外国語大学	韓国	コリア語	3月4日～3月29日(4週間) ホテル	43	15

2019年度以前に入学した国際教養学部生が海外短期語学講座に参加し、単位付与を希望する場合には、単位数分の授業料が発生します。

**②海外短期研修**

海外の名門大学で実施される短期プログラムにおいて、外国語で専門科目を学びます。各プログラムで必要とされる語学能力が定められています。海外短期研修には、(a) 修得した単位を単位換算手続きにより本学の修得単位として認定するもの(認定単位の評価は“N”) (b) 本学の開講科目として取り扱い、プログラム修了者に単位が付与されるもの(付与単位の評価は“P”)の2種類があります(大学名欄の記載参照)。認定・付与単位数はプログラムにより異なります。大学院生も参加ができますが、単位付与については履修要覧を確認してください。

**夏期休暇中開講**

■募集説明会：4月上旬～中旬

■申込受付期間：2024年4月下旬

正式な日程はLoyola掲示版(留学関係)をご確認ください。

※トリア大学については、ドイツ語学科事務室に問い合わせください。

**コース一覧**

※「概算費用」は前回の費用を基にした目安であり、支払い時の為替レート等により変動します。

大学名	国名	学習言語 (単位付与領域)	授業期間(前回実績) / 滞在形態	概算費用 (万円)	2023年度 参加者数 (人)	語学要件
カリフォルニア大学ロ サンゼルス校 (a)	アメリカ	英語	8月7日～9月15日(5週間) 学生寮	131～	2	有
UCLASummerSessions (SectionC) -UCLA正規生も受講するサマーセッション。 注) 帰国後の認定単位数は履修科目により異なる。						
カリフォルニア大学 デービス校 (b)	アメリカ	英語	8月11日～9月18日(4週間) ホームステイ	90	11	無
理工学生に求められる英語スキルの向上を含め、科学技術のホットトピック・異文化間研究プロジェクト・理工分野における起業家精神などを学ぶプログラム。理工共通1群。選択必修科目。 【付与単位】2単位						
ロンドン大学SOAS (b)	イギリス	英語	8月21日～9月8日(3週間) 学生寮	86	12	有
メディア入門/国際関係論/いずれかのコースを選択の上受講する。【付与単位】4単位						
オックスフォード大学 (b)	イギリス	英語	8月26日～9月6日(2週間) 学生寮	100	催行なし	有
英国政治・メディアについて集中的に学ぶプログラム。英国文化・シェイクスピアに関する講義もあり。【付与単位】2単位						
ビクトリア大学 (b)	カナダ	英語	8月1日～8月18日(3週間) 学生寮	90	7	有
ビジネスにおけるコミュニケーションや異文化理解、経営、国際ビジネスについて学ぶプログラム。期間中2つのモジュールを履修する。【付与単位】4単位						
教皇立ハベリアナ大学 (b)	コロンビア	イスパニア語	8月8日～9月1日(3週間) ホームステイ	70	7	有
イスパニア語既修者を対象とし、より高度なイスパニア語運用能力の習得を目的とする。 【付与単位】2単位						
トリア大学 (b)	ドイツ	ドイツ語	8月7日～9月1日(4週間) 学生寮	48	1	—
ドイツ語学科3・4年次生対象とし、ドイツ語の読解、聴解、会話、記述能力の向上を目的とする。(問い合わせ先：ドイツ語学科事務室) 【付与単位】2単位						



大学名	国名	学習言語 (単位付与領域)	授業期間(前回実績) /滞在形態	概算費用 (万円)	2023年度 参加者数 (人)	語学要件
ワルシャワ工科大学	ポーランド	英語	8月31日～9月10日(2週間)	32	催行なし	—
			学生寮			
理工学研究科の博士前期課程1・2年次生を対象とし、航空機工学を受講するプログラム。科目名「機械工学応用」として開講し、成績評価は通常通り(問い合わせ先:理工学研究科機械工学領域事務室)						

\*「カリフォルニア大学ロサンゼルス校」については、研修で修得した単位が帰国後単位換算手続きをすることにより本学での修得単位として認定されます。その他のプログラムについては、本学の開講科目として取り扱われ、修了者には単位が付与されます(単位換算手続きは不要)。ただし、2019年度以前に入学した国際教養学部生が海外短期研修に参加し、単位付与を希望する場合には、単位数分の授業料が発生します。

**春期休暇中開講**

■募集説明会：10月上旬

■申込受付期間：2024年10月中旬

正式な日程はLoyola掲示板(留学関係)をご確認ください。

**コース一覧**

\*「概算費用」は前回の費用を基にした目安であり、支払い時の為替レート等により変動します。

大学名	国名	学習言語 (単位付与領域)	授業期間(前回実績) /滞在形態	概算費用 (万円)	2023年度 参加者数 (人)	語学要件
ノースカロライナ大学 シャーロット校 (b)	アメリカ	英語	2月20日～3月7日(3週間)	98	9	無
			ホテル			
理工分野に焦点を当てた英語の学習やシャーロット地域の企業を訪問し、実践的な講義や活動に参加する。ペンバルプログラムで日本語を学ぶUNCCの学生とペアを組み、プログラム期間中に交流することができる。理工共通I群。選択必修科目。【付与単位】2単位						
西オーストラリア大学 (b)	オーストラリア	英語	2月5日～2月23日(3週間)	76	26	無
			ホームステイ			
法学の要素を含む英語学習・法学の講義とともに、司法機関等の見学を行い、法律知識の向上を図るプログラム。【付与単位】4単位						
パリ政治学院 (b)	フランス	英語	2月19日～3月15日(3週間)	70	8	有
			アパートメントホテル			
EUの政治・社会・経済に関する講座。講義内容に関連したレポートを作成。フランス語講座も受講可。【付与単位】4単位						
ESSCA (a)	ハンガリー	英語	2月5日～3月15日(6週間)	77	3	有
			アパートメントホテル			
欧州ビジネスを中心に経済・文化等を学ぶ講座。ビジネス英語講座あり。 注) 帰国後の認定単位数は履修科目によって異なる。						
デウスト大学 (b)	スペイン	イスパニア語	2月13日～3月8日(3週間)	70	13	有
			ホームステイ			
イスパニア語既修者を対象。中級レベルのイスパニア語学講座に加え、スペインやバスク地方の文化等を学ぶプログラム。文化体験もあり。【付与単位】2単位						

\*「ESSCA」については、研修で修得した単位が帰国後単位換算手続きをすることにより本学での修得単位として認定されます。その他のプログラムについては、本学の開講科目として取り扱われ、修了者には単位が付与されます(単位換算手続きは不要)。また、交換協定に基づき実施されるため授業料は免除となります。ただし、2019年度以前に入学した国際教養学部生が海外短期研修に参加し、単位付与を希望する場合には、単位数分の授業料が発生します。

**③実践型プログラム**

海外においてフィールドワーク等を通じて実践的に学ぶプログラムです。各プログラムは、本学の開講科目として取り扱われ、事前指導に全て参加し、現地研修において所定の成果を修めた者には、全学共通科目(選択科目)として単位が付与されます。付与単位の評価は「P」となります。大学院生も参加ができますが、単位付与については履修要覧を確認してください。

**【夏期休暇中実施プログラム】**

募集説明会：4月、申込受付：5月上旬

**【春期休暇中実施プログラム】**

募集説明会：10月、申込受付：11月上旬

各プログラムの参加条件、申込方法等詳細についてはLoyola掲示板を確認してください。

**コース一覧**

\*「概算費用」は前回の費用を基にした目安であり、支払い時の為替レート等により変動します。

プログラム名	実施時期	実施国	研修期間(2024年度予定)	概算費用 (万円)	2023年度 参加者数 (人)
グローバルリーダーシップ・プログラム	夏期休暇中	インドネシア (2024年度)	8月(7日間)	1	6
	イエズス会5大学(本学、西江大学(韓国)、輔仁大学(台湾)、アテネオ・デ・マニラ大学(フィリピン)、サナタ・ダルマ大学(インドネシア))から学生が集い、共通のテーマのもと次世代リーダーとしての問題意識や共通理解の醸成を目指すプログラム。学内での事前・事後研修、合宿形式の討論、講演の聴講、フィールドワーク等を行う。 2024年度はサナタ・ダルマ大学(インドネシア)にて実施予定。【付与単位】2単位				
AJCU-AP サービスマニシング・プログラム	夏期休暇中	フィリピン (2024年度)	8月(2週間)	15	3
	AJCU-AP=Association of Jesuit Colleges and Universities-Asia Pacific イエズス会の教育精神 For Others, with Others に基づいた人間的な成長を目指し、環境保全、異文化理解、地域振興をテーマに、現代に生きる若者としてどのような社会貢献ができるかを、韓国・フィリピン・インドネシアの学生と共に学ぶことを目的とする。 2024年度はアテネオ・デ・ダバオ大学(フィリピン)にて実施予定。【付与単位】2単位(予定)				
アフリカに学ぶA/B	夏期休暇中	カメルーン	8-9月(2週間)	40	12
	春期休暇中	南アフリカ	2-3月(2週間)	50	8
	アフリカ地域の歴史と現在(政治・経済・文化・日常生活)について、現地での講義と実習を中心に学ぶプログラム。現地大学の他、地域産業関連施設、世界文化遺産(歴史遺産)関連施設、国連関連施設、現地NPO、日本国大使館、JICA事務所等への訪問を予定。これらの訪問先において、現地学生をはじめ、研究者や地域の活動家、国際協力関連に携わる方々等との幅広い人的交流を通して、学生自身が学びを深めることを目的とする。【付与単位】2単位				
インドの社会経済・人間開発に学ぶ：南インドのケララ州を事例に	夏期休暇中	インド	8月上旬(2週間)	27	9
	南インドのケララ州の経済開発、労働問題、人間開発などの特徴や課題について、現地の状況に直接触れながら学ぶプログラム。【付与単位】2単位				
ジュネーブ国際機関 集中研修*	夏期休暇中	スイス	9月上旬(1週間)	35	23
国際機関本部が集中しているスイス・ジュネーブに滞在し、関係機関の職員から直接受ける講義や質疑応答を通して各国際機関の役割や活動を学ぶとともに、世界が直面する様々な課題について理解を深める。【付与単位】2単位					



プログラム名	実施時期	実施国	研修期間 (2024年度予定)	概算費用 (万円)	2023年度参加者数 (人)
エストニア・スタディーツアー：持続可能な社会構築に向けた教育の可能性※	夏期休暇中	エストニア	9月下旬 (1週間)	40	6
	時期によってはバルト海周辺国も含めるが、基本的にエストニアの教育機関などの活動を見学し、現地の学生や関係者とディスカッションを通して、教育プログラムを開発する。特にエストニアにおける環境保全やICT活用などの革新的取り組みと工夫を学び、持続可能な社会構築への示唆を得ることを目的とする。【付与単位】2単位				
国連の役割と機能 (国連集中研修) ※	春期休暇中	アメリカ	2月中旬 (1週間)	50	23
	ニューヨーク国連本部へ行き、現職国連本部職員から直に講義を受けたりディスカッションを行い、国連の役割と機能について理解を深める1週間の集中プログラム。国際社会が直面する課題を学び、将来国際社会で活躍できる人材を養成する機会を提供することを目的とする。【付与単位】2単位				
JWL・スタディーツアー	春期休暇中	未定	2月 (予定)	—	—
	Jesuit Worldwide Learning (JWL) のラーニングセンターがある地域 (ミャンマー・カンボジア・インド・スリランカ・ヨルダンなど) を訪問し、教育を受ける機会に限られている若者がいる世界の現状を目の当たりにするとともに、こうした格差是正に向けた様々なアプローチでの取り組みについて学ぶプログラム。また、「人間の安全保障と多文化共生」のテーマの元に、主に教育開発を中心に各国政府 (日本・韓国)、国際機関・イエズス会等がそれぞれ現地に対してどのような認識を持って活動を行っているか調査しながら、国際関係や協力の現実をより深く理解することを目指す。2024年度訪問地は未定。【付与単位】2単位				
東南アジアに学ぶA	夏期休暇中	タイ、ラオス	9月上旬 (10日間)	30	15
	ダイナミックに変貌している東南アジアのメコン地域を対象とする。メコン地域の経済活動を促進してきた3つの経済回廊のうち、タイの首都バンコクから中国の昆明を繋ぐ「南北経済回廊」の中間に位置するラオスを訪問する。発展が著しいバンコクの市中探索を行った後、ラオスの古都ルアンプラバンに滞在し、ラオスの大学生と共に、様々な実体験と交流を通じ、主な地域課題とその取り組みについて学ぶことによって、自律的で循環型の持続可能な未来社会への示唆を得るプログラムである。【付与単位】2単位				
東南アジアに学ぶB	春期休暇中	タイ	2月-3月 (10日間)	33	18
	東南アジアのメコン地域における経済社会発展の拠点であるタイで実施され、首都のバンコクと北部タイのチェンライとその郊外を訪問する。バンコクにおいてはダイナミックに変貌する経済社会や多様な文化を体感し、チェンライでは、イエズス会が設置した高等教育機関「ガビエル学習コミュニティ」に滞在し、少数山岳民族出身の学生との協働学習を行う。北部タイの経済社会課題に関する講義、少数山岳民族の村への訪問、作業体験、国境地帯の観察等を柱とするプログラムである。【付与単位】2単位				
多文化共生社会のリーダーシップ	夏期休暇中	アメリカ	9月上旬 (1週間)	60	—
	アメリカ (ワシントン州) ゴンザガ大学のリーダーシップ研究専門の学部・大学院である School of Leadership Studies によって企画・開講されるプログラム。米国におけるダイバーシティやジェンダーの様々な課題、そして多様性を踏まえた包摂的リーダーシップについて、ゴンザガ大学教員による座学、日米の学生同士のアクティビティとディスカッションなどを実践する。渡航前後、オンラインでの協働学習 (COIL) も実施し、双方を通して理解を深めることを目指す。【付与単位】2単位				

2019年度以前に入学生した国際教養学部生が実践型プログラムに参加し、単位付与を希望する場合には、単位数分の授業料が発生します。

※のついているプログラムは、グローバル・スタディーズ研究科国際協力学専攻において海外実習科目として履修できます。詳細は専攻事務室にお問い合わせください。

#### ④ インターンシップ科目 (短期)

\* インターンシップ科目に2019年度以前入学の国際教養学部生が参加し、単位付与を希望する場合は、単位数分の授業料が発生します。

対象：2年次以上 (科目・実習先の条件によって更なる学年制限がある場合も有り) 上智大学と協定を結んだ実習先 (グローバル企業、国際機関・協力団体、報道機関など) でインターンシップ (就業体験) をし、事前・事後の講義受講や課題提出を行うことで全学共通科目 (選択科目) の単位が付与されます。就業・実務体験を通じて、大学で学んだ専門知識や技能をグローバル社会の中でどのように活かすのか、あるいは自分が残りの大学生活で何を学ぶべきか、といった気付きを得るため、主体的に学ぶ姿勢が求められます。インターンシップは夏期・春期休暇期間中に2~6週間設定されています。

・対象科目

「経済同友会連携インターンシップ」(2年次生限定・夏期休暇期間中のみ)

「グローバルインターンシップ (短期)」(2年次生以上)

「UDトラックスイターンシップ」(2年次生以上)



## 第Ⅱ部 | 交換留学

part 2 . Sophia Exchange Program



本学と交換留学協定を結んでいる海外の大学との間で、学生を相互に派遣、受入する制度です。英語集中コース、3キャンパス枠等の交換留学もこれに準じます。上智大学交換留学生として留学する場合、留学期間中の学費は本学にのみ納入し、留学先大学での授業料は免除されます。(ただし、個人で語学講座等に参加する場合の費用は自己負担です。また、語学力不足により語学講座履修を義務づけられた場合、費用負担が発生することがあります。)

### 1 交換留学出願手続等

Students of English-based undergraduate/graduate programs could refer to P.62 General Information on Study Abroad where some of the information is indicated in English.

#### A 募集時期

交換留学生の募集は年2回、留学先大学の教授言語と地域毎に行われます。具体的な募集時期や出願要領については、その都度Loyola掲示板およびLoyolaダウンロードセンターで通知します。通常、留学開始時期の約10カ月前に学内選考があります。下記の募集、選考時期は目安であり、変更することがあります。また、すべての協定校が毎年募集を行うわけではありません。

	留学先大学教授言語(地域)	募集案内	願書受付	学内選考結果	留学期間(目安)
春募集	英語(オセアニア、韓国、南アフリカ)・ドイツ語・ スペイン語(南米)・ロシア語・ ポルトガル語(南米)・韓国語	4月下旬	6月初旬	7月中旬	翌年2~3月から 約4カ月または10カ月
秋募集	英語(北米、欧州、アジア、 アフリカ)・フランス語・ スペイン語(中南米、欧州)・ ロシア語・ポルトガル語(欧州、 マカオ)・イタリア語・中国語	7月下旬	10月初旬	12月中旬	翌年8~9月から 約4カ月または10カ月

※詳細は「交換留学協定校一覧」(P.72~)参照

## B 出願及び留学資格

	要件	備考
1	出願するまでに32単位以上を修得しておくこと。	出願は1年次でもよいが、留学は2年次より可能。その場合は留学に出発する前の学期までに32単位以上を修得しておくこと。(詳細はP.45参照)
2	上智大学での全科目の累積GPAが2.8以上であること。(注1)	総合平均点GPA (Grade Point Average) の計算方法: GPAとは各評価に与えられている評価点に各授業科目の単位数を乗じて得た積の合計を登録科目の総単位数で除して算出します。(4点満点) 【GPAの計算式】 $4.0 \times A$ の修得単位数 + $3.0 \times B$ の修得単位数 + $2.0 \times C$ の修得単位数 + $1.0 \times D$ の修得単位数 履修登録科目の総単位数 (W,N,P,Xとして表示された科目を除く)
3	必要な外国語の要件を満たしていること。	英語での出願者は、TOEFL iBT®のスコア提出が必須*。 その他、各協定校の語学要件はLoyolaダウンロードセンター掲載の募集要項フォルダ参照。 ※さらにUK出願者はIELTSのスコア提出も必須 ※TOEFL iBT®の「MyBest™ scores」は使用不可
4	学科長の承諾があること。	院生は専攻主任と指導教員両方の承諾が必要
5	心身ともに健康であること。(注2)	毎年4月に本学で行われる定期健康診断(内科診察も含む)の受診が必要。 9月入学者も必ず4月に受診すること。
6	経済的保証及び保証人の承諾があること。(注3)	留学に必要な費用について、家族とよく相談し、経済的な保証を得てから出願すること。

### 重要

注1：交換留学学内選考合格者は、留学予定大学へ上智大学から推薦され、その後先方大学の審査により入学許可が出て初めて交換留学が可能となります。

(最終的な留学可否は例年、出発の2、3カ月前に判明)

学内選考に合格しても、留学先大学の審査で入学不許可になり、交換留学ができない可能性もあります。(特にGPA3.0未満の場合、入学不許可となる場合があります)

注2：学内選考合格者のうち健康面で経過観察が必要な場合は、留学出発前までの間に適宜、医師の診察を受ける必要があります。最終的な留学の可否判断は、医師の所見を参考に学長が決定します。

注3：合格後、正当な理由なく辞退することは認められません。

## C その他出願の留意点

### (1) 学部生の留学可能年次について

協定校ごとに、留学可能年次が定められています。3年次生以上が留学が可能な大学には、1年次生は出願できません。2年次生以上が留学可能な大学には1年次生も出願できますが、本学入学後少なくとも1学期以上在籍し、本学の成績証明書を出願期間内に提出することが必要となります。

### (2) 留学期間と回数

交換留学期間は1年間(約10～12カ月)もしくは1学期(約4カ月)となります。出願・配置大学決定後の交換留学の延長・短縮はできません。交換留学から継続して留学する場合は、学事センターで「一般留学」か「休学」の手続をしてください。学部在学中の交換留学は原則として1人1回です。ただし、下記の交換留学プログラムを組み合わせる場合は、例外として2回の交換留学が認められますが、修業年限に算入する期間は1年間を上限とします。また、本学の単位に換算できる単位数の上限は、合計30単位です。

- ・LAP + 交換留学
- ・SAIMSプログラム + 交換留学
- ・SAIMSプログラム + LAP

※大学院生は第III部「大学院生の留学」(P.41～)をご確認ください。

## D 出願に必要な書類

- (1) 交換留学願書
- (2) 語学能力を証明する書類 ※英語での出願者はTOEFL iBT<sup>®</sup>スコア提出
- (3) 本人誓約書・保証人および学科長の承諾書(本学所定用紙)
- (4) 最新の英文成績証明書
- (5) 本学ウェルネスセンター発行の健康診断証明書

出願要領や必要書類については、募集時にLoyola掲示板・ダウンロードセンターでお知らせします。

## E 選考方法

- (1) 書類審査
- (2) 面接  
本学教員による面接を行います。
- (3) 選考判定  
語学能力(英語での出願者はTOEFL iBT<sup>®</sup>スコア)、学業成績(GPA)、面接点をもとに、総合点を算出します。この「総合点」の高い順に志望先大学へ割り振ります。

## F 交換留学学内選考試験合格後の手続き

### 合格大学への推薦

学内選考に合格した者は、「交換留学候補者」として留学先大学へ推薦されます。その後、留学先大学で必要な出願書類を準備・送付し、先方での受入審査があります。下記の条件がすべて満たされた場合に、正式に留学が決定されます。

- ① 留学先大学から正式に入学許可がおりること。
- ② 学内選考試験合格後も全科目のGPA2.8以上を保つこと。
- ③ 心身ともに健康であること。(定期健康診断(内科検診を含む)で問題がないこと。)
- ④ 上智大学指定の海外留学保険および危機管理サービスに加入すること。

### 留学前に本学へ提出する書類

留学願、誓約書、留学先大学での入学審査のための必要書類等については、グローバル教育センターから通知します。

### 宿舎申込について

留学時の宿舎手配は交換留学生候補者が自身で行います。通常は留学先大学を通して紹介、または斡旋がありますが、地域により住宅事情は異なります。また、大学経由での斡旋、手配が受けられず、自身で住居を探す必要が生じる場合もあります。昨今は慢性的な宿舎不足により、渡航前の宿舎確保が難しくなっている大学もあります。登録や申し込みは留学先大学から案内があったらすぐに行うようにしてください。

### 入学許可取得後の渡航準備、ビザ申請など

交換留学の場合でも自己手配となります。入学許可書を取得した後、留学先大学から到着指定日や出迎えサービスの有無の案内がありますので、速やかにご自身で旅行会社や渡航予定国の大使館ウェブサイトで最新情報を確認し、必要な準備を行ってください(概ね留学開始時期の3か月前頃が対応の目安)。渡航先の入国・滞在条件は頻繁に変更されるため、グローバル教育センターでの手配、支援は行っていません。自身の責任で安全に現地に渡航できる手段、方法で手配してください。

### 留学先大学への主な提出書類(大学により異なります)

- ・ 留学先大学所定願書、英文推薦状、英文成績証明書
- ・ 本人または保証人の英文預貯金残高証明書
- ・ 英文の健康診断書(予防接種の記録を含む)
- ・ Official TOEFL<sup>®</sup> Scoreなどの語学能力証明書(TOEFLの場合、一部の大学では、学内選考合格後、ETSを通して直接送付することが必要となる。スコアの有効期限に充分余裕のあるものが望ましい。)
- ・ 大学院生の場合、GRE (General Test, Subject Test) またはGMATのスコアを要求されることがあります。また、学部生より高い語学試験のスコアを要求されることがあります。

### 帰国後の提出物

交換留学生は、帰国後1カ月以内に「交換留学帰国レポート」を提出することが義務づけられています。

## G 交換留学時に見込まれる費用

- (1) 留学先大学に授業料を納入する必要はありません。
- (2) 留学先大学指定の保険や、授業料以外の諸経費は個人負担が必要となる場合があります。
- (3) 旅費や現地での生活費は本人負担となります。1年間留学する場合、必要経費として150~300万円程が見込まれます。この金額は、留学先、通貨の換算レート、現地での生活の仕方、休暇の過ごし方によっても大きく変わってきます。



- (4) 本学学費は通常の請求にしたがって納入ください。
- (5) 日本出発から帰国日までの上智大学指定の海外留学保険と、危機管理サービスへの加入(約15万円弱)が必要となります。
- (6) 個人の希望で、学期開始前に留学先大学で開講される語学講座等に参加する場合、費用は個人負担となります。
- (7) 語学力不足により学期前あるいは学期中の語学講座参加を義務付けられた場合にも、費用負担が生じることがあります。

## 2 目的に合わせた交換留学プログラム

### A 英語集中コース

交換留学協定校で行われている語学プログラムに参加し、英語を集中的に学びます。留学期間は秋学期の1学期間のみとなります。学費を本学に納入することにより留学先大学での授業料は免除されますが、渡航費・滞在費等は参加者の負担です。なお、単位付与を希望する場合は、学内選考合格後、語学科目「交換留学海外英語集中講座」の履修登録が必要です。なお、本プログラムは、通常の交換留学へ参加するには英語力が不足していて出願が難しい者を対象としています。

#### 【対象校】

- ①カンザス大学 (The University of Kansas) / アメリカ  
プログラム名: Applied English Center Program (AEC)  
授業期間: 8月中旬～12月中旬
- ②クレイトン大学 (Creighton University) / アメリカ  
プログラム名: Intensive English Language Institute (IELI)  
授業期間: 8月中旬～12月中旬
- ③ミシシッピ大学 (The University of Mississippi) / アメリカ  
プログラム名: Intensive English Program (IEP)  
※2024年秋出発の募集はありませんでした。
- ④セント・メアリーズ大学 (St. Mary's University, Texas) / アメリカ  
プログラム名: Intensive English Program (IEP)  
授業期間: 8月中旬～11月下旬
- ⑤ディーキン大学 (Deakin University) / オーストラリア  
プログラム名: Deakin University English Language Institute (DUELI)  
授業期間: 8月下旬～翌2月中旬(12月に休暇期間あり)

#### 【プログラム参加にあたって】

対象者: 学部生(留学時も学部生であること)

出願資格: ①留学する前年度までに32単位以上を修得済みであること

②全科目のGPAが2.8以上であること

③学科長の承諾があること

④心身ともに健康であること

⑤経済的保証及び保証人の承諾があること

出願書類: Loyolaダウンロードセンターにて確認すること(※1)

選考方法: 書類審査、面接

判定: GPA、面接点をもとに総合点を算出。総合点の高い順に志望大学へ割り振ります。

出願期間: 10月初旬

詳細はLoyola掲示板・ダウンロードセンターにて確認すること

#### 【単位付与について】

単位は語学選択科目(6単位分、成績評価は「P」)として認定されます。付与される単位が卒業要件に算入されるか否かについては履修要覧を確認ください。また、単位が付与されるためには以下の全ての条件を満たすことが必要となります。

1. 語学科目「交換留学海外英語集中講座」の履修登録を行うこと
2. 事前指導に出席すること
3. 現地での語学プログラム(135時間以上)に参加し、所定の成果を修めること(※2)
4. 帰国後に指定の英語検定試験(※3)を受験すること
5. 交換留学に参加するうえでの各条件を満たすこと
6. プログラム終了後の次学期に在籍していること(※4)

※1: 出願時には、1年次に受験したAC-TEAPのスコアをLoyolaの外国語検定試験画面のコピーを提出すること。未受験の場合はTEAP(4技能)、TOEIC®(4技能)、TOEFL iBT®のいずれかのスコアコピーの提出が必要です。CASECのスコアは使用不可です。(ただし、点数は選考には影響しません。)

※2: 英語のレベルが高い者(通常の交換留学に出願できる程度のレベルがある者)は、現地での語学プログラム参加時間数が135時間に満たないことがあり、その場合、単位付与が不可となります。英語のレベルについて不安がある場合は、事前にグローバル教育センター窓口で相談してください。

※3: TOEIC®(4技能)、TOEFL iBT®、TEAP(4技能)のいずれかを各自受験し、スコアコピーを4月30日までに提出すること。

※4: 当プログラムの単位はプログラム終了後の翌春学期に付与されます。そのため、当プログラム参加学期を以って卒業もしくは退学を予定している学生は単位付与の対象外となります。

## B Sophia AIMS (SAIMS) プログラム

ASEAN 政府主導の国際的な留学制度である AIMS Program による東南アジアの協定校への1学期の交換留学です。留学先では、言語・文化、国際ビジネス、経済学、食料科学技術など各大学が提供する様々な分野を学ぶ機会があります。

留学期間：1学期 / 対象者：学部生 / 使用言語：英語

授業料：交換留学と同様に、留学中は上智大学のみ納入(留学先の学費は免除)

募集時期および出願条件：通常の交換留学に準ずる

### 留学先

所在国	大学名	留学開始時期	所在地	留学可能年次
インドネシア	IPB University	秋	Bogor	2年次以上
	Gadjah Mada University	秋	Yogyakarta	
タイ	Chulalongkorn University	秋	Bangkok	
	Mahidol University	春・秋	Nakhon Pathom	
フィリピン	Ateneo de Manila University	秋	Manila	
	De La Salle University	春・秋	Manila	
マレーシア	Universiti Kebangsaan Malaysia (The National University of Malaysia)	秋	Bangi, Selangor (Kuala Lumpur 郊外)	

### 【履修推奨科目】

SAIMS プログラムは、ASEANの学生と協働して既存の人文・社会および自然科学の枠組みを超えて「人間開発」に取り組むことを目指す学融合型プログラムです。自ら ASEAN 諸国へ留学すると同時に、ASEANから本学で受け入れている学生との交流を通じた学びを深めるため、留学前後に以下の科目の履修を強く推奨しています。(使用言語：英語)

※これらの科目は本学全学部生に開講されています。

科目名	開講学期	開講元
CONSERVATION	春学期・秋学期	全学共通科目
ENVIRONMENTAL SCIENCE	春学期・秋学期	全学共通科目
SUSTAINABLE DEVELOPMENT	1Q・3Q	全学共通科目

## C Latin America Program (LAP)

LAPは、文部科学省の補助事業(「大学の世界展開力強化事業」として、南山大学、上智大学短期大学部と連携して実施してきた、中南米地域との留学プログラムです。補助事業期間は終了しましたが、中南米との学生交流を今後も継続するために、上智大学としてLAPを継続しています。LAPには提携大学である中南米6カ国13大学への長期留学、コロンビアへの短期留学、中南米からの受入留学生と交流できる上智でのスペイン語・ポルトガル語での科目や、長期留学対象のインターンシップの機会といった、様々なプログラムがあります。

留学期間：1学期または1年間 対象者：学部生、大学院生

使用言語：スペイン語またはポルトガル語

授業料：交換留学と同様に、留学中は上智大学のみ納入(留学先の学費は免除)

募集時期および出願条件：通常の交換留学に準ずる。

### 留学先

所在国	大学名	所在国	大学名
アルゼンチン	Universidad Católica de Córdoba	コロンビア	Pontificia Universidad Javeriana
	Universidad del Salvador		Universidad de los Andes
ブラジル	Universidade de Brasilia	メキシコ	Universidad Iberoamericana Ciudad de México
	Pontificia Universidade Católica de São Paulo		Universidad de Guanajuato
	Universidade Estadual de Campinas		Instituto Tecnológico y de Estudios Superiores de Occidente
チリ	Pontificia Universidad Católica de Chile		Instituto Tecnológico Autónomo de México
ペルー	Pontificia Universidad Católica del Perú		

### 【履修推奨科目】

LAPを通じて中南米諸国へ長期留学する学生は、このプログラムのために特別に設けられた次の科目から最低1科目を、留学前もしくは留学後に履修することが強く推奨されます。本科目には中南米諸国からLAPを通じて上智大学へ来る留学生も参加します。(使用言語：スペイン語またはポルトガル語)

※これらの科目は本学全学部生に開講されています。

科目名	開講学期(開講元)
「日本・ラテンアメリカ比較文学」	春(イスパニア語学科)
「演習(在日ブラジル人教育・社会事情研究)1」	春(ポルトガル語学科)
「演習(在日ブラジル人教育・社会事情研究)2」	秋(ポルトガル語学科)



■短期留学

対象者：学部生  
 単 位：2単位付与  
 プログラム概要：

海外短期研修「教皇立ハベリアナ大学」

高度なスペイン語運用能力の習得とコロンビア文化への理解を深め、多様な文化背景をもつ学生と交流し、多文化への理解と適応力を高めます。明確な目的意識と目標を持って、勉学に励むことができる、スペイン語既修者対象。

募集等詳細はp.23を参照。

D 3キャンパス枠交換留学（上智大学・西江大学・香港城市大学3キャンパス東アジア地域研究国際共同プログラム）

上智大学・西江大学（韓国）・香港城市大学（中国）の3つの大学で、それぞれの国に関する歴史、文学、経済、政治、国際関係、文化等に関する科目を英語で学び、東アジア地域に関する理解を深めるプログラムです。上智大学からの参加学生は、交換留学により、西江大学（School of Integrated Knowledge）と香港城市大学（College of Liberal Arts and Social Science）へそれぞれ1学期ずつ留学します。

対象者：学部生  
 使用言語：英語  
 留学期間：計1年  
 募集時期および出願要件：通常の交換留学に準ずる。

E Graduate Institute（スイス・ジュネーブ）との3+2プログラム

The Graduate Institute of International and Development Studies（ジュネーブ国際・開発研究大学院）は、スイス・ジュネーブの中心地にあり、数多くの国際機関職員や外交官を輩出してきた大学院です。同大学院では、国際関係学、国際法、歴史学、経済学、人文学や開発学等の幅広い専攻分野が提供されています。このプログラムは、上智大学の学部で3年間（または3.5年間）学んだ後に、Graduate Instituteの大学院で2年間の修士課程を終えると、計5年間（または5.5年間）で学士号（上智）と修士号（Graduate Institute）が取得できるプログラムです。希望者は先方の定める要件を満たし、通常の入学審査に出願して合格する必要がありますが、上智大学の推薦を通して同大学院に出願することによって、一般受験者より優先的に審査されます。

進学対象大学院：The Graduate Institute of International and Development Studies  
 対象専攻：

- ・ Interdisciplinary Masters：International and Development Studies
- ・ Disciplinary Masters：Anthropology and Sociology, International Law, International Economics, International History and Politics, International Relations/Political Science

対象者：出願時点で、上智大学学部3年次生の者  
 募集時期：年1回（10～11月頃）  
 留学開始時期：上智大学での学部4年次（秋学期）

F MAGIS交換留学

MAGIS交換留学プログラムは、イエズス会系コンソーシアムのIAJU (International Association of Jesuit Universities) によるイエズス会の大学間で行う学生交換プログラムです。参加学生は、グローバル市民としての役割を認識し、他者のために社会的および環境的問題におけるリーダーシップを発揮する人材として成長することが期待されます。

留学期間は1学期間のみで、留学前にオンラインで事前講義を受講し、留学中にインターンシップ、ボランティア、またはサービスマーケティングの経験をすることができます。

対象者：学部生  
 使用言語：英語、ポルトガル語、イスパニア語（留学先大学により異なる）  
 留学期間：1学期  
 出発時期および募集時期：秋出発、前年9月下旬募集  
 出願要件：通常の交換留学に準ずる。

その他のプログラムについては、本学公式HPを参照してください。



## 第Ⅲ部 | 大学院生の留学

part 3 . Study Abroad Program for Graduate Students

### 1 在学中の留学（交換留学）

大学院生も通常の交換留学に出願できます\*。ただし、協定校によっては大学院生の受入を行わない大学や、大学院生向けの成績や語学要件を別に定める大学、大学院生を学部生扱いでしか受け入れない大学もあります。個別のケースについてグローバル教育センターから協定校に事前に問い合わせる必要があるため、希望者は学内募集要項で指定された期日までに、①留学希望大学名、②受入希望研究科・専攻、③履修希望科目などを具体的に調べたうえで、グローバル教育センターまで問い合わせてください。なお、協定校からの回答により出願が可能となった場合でも、学内選考合格後、協定校の審査で受け入れ不可となるか、学部生扱いでの受入を提案されることもあります。

※本学入学後少なくとも1学期以上在籍し、本学の成績証明書を出願期間内に提出することが必要となります。この条件を満たさない場合は、事前にグローバル教育センターに相談してください。

※留学資格については第Ⅱ部「交換留学」(P.29～) および第Ⅳ部「留学に関する規則」(P.45～) も確認してください。

また、以下の交換留学協定校では特定の分野を専攻する大学院生に特化して受入を行っています。出願要件は通常の交換留学に準じますので、Loyolaダウンロードセンターに掲載する交換留学の募集要項に従って出願してください。

#### 理工学研究科学生のみ対象

- ・ Warsaw University of Technology (WUT)
- ・ Zurich University of Applied Science (ZHAW) School of Engineering

#### ドイツ文学、神学、哲学を専攻している博士後期課程の大学院生推奨

- ・ Albert-Ludwigs-Universität Freiburg ※最長2年間の留学が可能

#### フランス研究を専攻している博士前期・後期課程の大学院生推奨

- ・ Université d'Angers

## 2 海外大学院特別進学制度

本学では、上智卒業後に海外大学院への進学を希望する学生が、上智の推薦を受けて出願する制度を設けています。大学によって優先的な審査や、一部費用の減免等のメリットがあります。

### フォーダム大学大学院

フォーダム大学大学院の下記専攻に進学を希望し、先方の入学基準を満たす者は、本学の推薦に基づき通常の審査よりもシンプルな手続によって入学が可能です。また、一部授業料の減免措置も適用されます。

進学対象大学院：Fordham University Graduate School of Arts and Sciences

対象専攻：International Political Economy and Development (IPED)

Urban Studies (URST) Public Media (PMMA)

Humanitarian Studies (MSHS) Data Science (MSDS)

対象者：翌年3月または9月に本学を卒業見込みの者、または本学卒業生

募集時期：年1回（9月頃） 進学時期：翌年秋学期

### コロンビア大学 Teachers College

Teachers Collegeの志望専攻での出願要件を満たす者は、本学の推薦を受け同大学院に出願することによって、一般受験者より優先的に審査されます。

進学対象大学院：Columbia University Teachers College

対象専攻：全てのプログラム

対象者：翌年3月または9月に本学を卒業見込みの者、または本学卒業生

募集時期：年1回（9月頃） 進学時期：翌年秋学期

### コロンビア大学 School of Professional Studies

School of Professional Studiesの志望専攻での出願要件を満たす者は、本学の推薦を受け同大学院に出願することによって、一般受験者より優先的に審査されます。

進学対象大学院：Columbia University School of Professional Studies

対象専攻：全てのプログラム

対象者：翌年3月または9月に本学を卒業見込みの者、または本学卒業生

募集時期：年1回（9月頃） 進学時期：翌年秋学期

### ジョージタウン大学大学院

ジョージタウン大学大学院の下記専攻の出願要件を満たす者は、本学の推薦を受け同大学院に出願することによって、一般受験者より優先的に審査されます。

進学対象大学院：Georgetown University Graduate School of Arts and Sciences

対象専攻：Department of Government (M.A. in American Government, M.A. in Conflict Resolution, M.A. in Democracy and Governance)

McCourt School of Public Policy (Master of Public Policy, Master of International Development Policy, Master of Science in Data Science for Public Policy)

対象者：翌年3月または9月に本学を卒業見込みの者、または本学卒業生

募集時期：年1回（9月頃） 進学時期：翌年秋学期

### ボストンカレッジ Lynch School of Education and Human Development

ボストンカレッジの下記専攻の出願要件を満たす者は、本学の推薦を受け同大学院に出願することによって、一般受験者より優先的に審査されます。

進学対象大学院：Lynch School of Education and Human Development

対象専攻：Master of Arts degree in Higher Education

対象者：翌年3月に本学を卒業見込みの者、または本学卒業生

募集時期：年1回（9月頃） 進学時期：翌年秋学期



## 第IV部 | 長期留学に関する規則

part 4. Regulations for Long-Term Study Abroad

### A 留学の資格

#### 1. 学部生

学部生で留学を希望する者は、留学出発までに本学に1年以上在学し、留学前年度まで（国際教養学部、SPSF、理工学部英語コースの学生は、留学開始学期前の4学期間）に32単位以上修得しておく必要があります。留学した年度は在学期間に算入されるため、学則第40条（注）の対象となります。交換留学の学内選考出願は1年次（2学期目）でもできますが、留学開始は2年次（4学期目）以降となります。

（注）連続する2カ年において、学部学科が指定する授業科目を含む32単位以上を修得できない者については、学長が退学を決定する（学則第40条）

#### 2. 大学院生

大学院生で留学を希望する者は、留学開始時に下記の条件を満たす必要があります。

- ・ 本学の大学院に1か年以上在学していること
- ・ 前期課程の場合には、本学において修得すべき授業科目10単位以上を修得していること

ただし、専攻主任及び指導教員は、学生の研究指導上、留学することにより、研究又は学修の効果が上がるものと判断した場合は、当該学生について、本学大学院に1学期在学していること及び授業科目を10単位以上履修登録をすることを条件に、留学の資格者としてすることができます。

### B 留学の期間

1. 留学期間は交換留学は1学期または1年（SAIMS/LAPを含む場合はこの限りではない）、一般留学は1クォーター単位で申請が可能です。ただし、継続して留学が許可された場合は最長2年まで延長できます。交換留学の場合は出願時に留学期間を選択します。

※交換留学の場合、「交換留学」の身分は最長1年（4クォーター）

但し、申込時に1学期（2クォーター）とした場合、その後「交換留学」の身分を1年（4クォーター）に延長することはできません。（p.31(2)「留学期間と回数」参照）

※一般留学の場合の留学期間は、留学先大学の授業期間と単位換算対象となるかどうかを考慮して申請すること。詳細はP.47「F 単位換算について」参照。

2. 2年間留学した場合、2年とも「在学期間」に算入されますが、「修業年限」に算入されるのはそのうちの1年間だけです。

※修業年限→卒業に必要な4年間 ※在学期間→本学に最長在学できる8年間

### C 留学の延長または取消し

1. 一般留学で許可された留学期間を超える場合は、その期間終了の1カ月前、かつ留学を希望するクォーター開始の前日までにあらためて留学願を提出し、許可

を受けてください。

- 交換留学をやむをえず取消す場合は理由書を添えてグローバル教育センターにすみやかにご相談ください。一般留学の場合は復学を希望するクォーターの前日までに学事センター（学籍）に復学届を提出してください。

## D 留学前後の手続一覧（詳細については各該当箇所を参照のこと）

	窓口	手続・提出書類等	注意
留学前	グローバル教育センター	「留学願（交換留学）」	提出前に学科の指導を受けること
		大学指定保険・危機管理サービス加入	一般留学、休学での海外勉強も加入が必要です。出発1カ月前までに窓口で問い合わせること
	学事センター（学籍）	「留学願（一般留学）」	提出前に学科の指導を受けること 「留学願（一般）」は留学の1カ月前かつ留学を希望するクォーターの前日までに提出すること
留学中	帰国後の単位換算に必要な書類を確認し、留学先大学で通常発行していない書類や、単位換算の申し込み時点で間に合わないおそれのある書類などは、余裕を持って留学先大学に請求してください。（P.47-50「単位換算について」参照）		

	窓口	手続・提出書類等	注意
帰国後	学事センター（学籍）	「帰国届」	一般留学の場合は、学事センター窓口へ備え付けの「帰国届」を提出してください。交換留学の場合は、グローバル教育センターより発行される「帰国届」を提出してください。
	学事センター（教務）	◇修得単位換算願	◆下記「履修登録について」参照 ◆登録されていない科目の単位は修得できないので必ず確認のこと ◆P.47-50「単位換算について」参照
	グローバル教育センター	「交換留学帰国レポート」	交換留学の場合のみ

※履修登録や単位に関する相談は、学事センター（教務）で行ってください。

## E 履修登録について

### 履修計画

留学の種類や留学期間によって卒業の時期は異なりますが、計画通りの時期に卒業するためには、事前に履修計画をしっかりと立てておく必要があります。卒業の要件は、①修業年限を満たす②卒業に必要な所定の授業科目の単位を修得する、の2点です。この条件が満たされると、留学中であっても修業年限を満たした年度の3月に自動的に卒業となります（4月入学者の場合）。前年度の履修科目や単位換算の予定を含め十分に計画を立て、学科の履修指導を受けてください。

## F 単位換算について

留学中に修得した科目の単位は、最高30単位まで本学の単位に換算することができます\*。ただし単位数は、本学の基準により換算するので、留学先大学で修得した単位数のままでは算入されません。上智大学で開講している科目名や単位数に読みかえることなく、留学先大学で取得した科目を上智大学の基準で計算した単位数に換算します。その際、その換算により必修科目等の履修が免除されることもあります。

※「交換留学」と「一般留学」の組み合わせで在学中に複数回留学する場合や、P.31「(2) 留学期間と回数」に記載の2回交換留学する場合であっても、換算できる単位数の上限は合計30単位です。

※一般留学の場合、上智大学の学籍上の留学期間に開講される科目の単位が単位換算の対象となる。よって、「留学願（一般留学）」にて申請する留学期間は、留学先大学の授業期間と一致させること。ただし、本学のクォーターや学期と留学先の授業期間が一致しない場合、留学期間1クォーターにつき、留学先大学の授業期間3か月分（留学期間が2クォーター＝1学期間であれば6か月）を超えない範囲であれば、上智大学の学籍上の留学期間以前もしくは以後の授業期間で取得した単位を換算の対象として認める可能性がある。

例：留学先大学に2月～6月まで（＝留学先大学の1学期）と7・8月の夏期短期講座を履修・単位修得した場合

学籍上の留学期間 4Q、次年度 1Q・2Q → 留学中に修得した全ての単位が換算対象

学籍上の留学期間 1Q・2Q → （2～8月だと6か月を超えるため）2月～6月までの1学期分に修得した単位のみが換算対象

### 1. 必要書類

	手続・提出書類等	注意
留学先で取り寄せるもの（次頁続く）	成績証明書	成績証明書は以下1、2のいずれかを提出すること（1は従来通り、2は2023年度以降に単位換算を行う学生から可とする） 1. 大学発行の大学印及び署名のある原本（紙）※コピー不可。 2. 留学先大学から上智大学に直送される大学発行の電子成績証明書または証明書電子データ ※学生自身に送られたものや学生がWebサイトからプリントアウトしたものは不可。 留学先大学には以下の宛先に送付するよう、学生自身が担当オフィスに依頼すること。交換留学と一般留学で送付先が異なるので間違えないよう注意すること。 【交換留学の場合】グローバル教育センター 宛先：Center for Global Education and Discovery メールアドレス：outbound-co@sophia.ac.jp 【海外短期研修（UCLA, ESSCA）の場合】グローバル教育センター 宛先：Center for Global Education and Discovery メールアドレス：short-outbound-co@sophia.ac.jp 【一般留学の場合】学事センター 宛先：Center for Academic Affairs メールアドレス：academic_affairs_transfer_2-co@sophia.ac.jp ※学事センターのメールアドレスは成績証明書の送付以外の用途では使用できないので、問い合わせや他の提出物は送らないこと。万が一送られても返信や対応は行わない。また、留学単位換算の手続きはメールではできないので、他の必要書類は必ず窓口を持参すること。



	手続・提出書類等	注意
留学先で取り寄せるもの	成績の評価基準を示す文書	可否の基準(どの評価までが単位修得となるのか)が明記されているもの(成績証明書に記載があれば、それも可) ※成績証明書を電子データで提出する場合は、あわせて評価基準を示す文書の添付を依頼しておくことよ。
	留学先大学の学年暦	授業開始日・終了日、試験期間、休暇期間を示す書類 ※HPなどのプリントアウト、コピーでも可
	各科目シラバス(講義内容が書かれた書類)	成績証明書と科目名が一致していること ※HPなどのプリントアウトも可 ※シラバスがない場合は、担当教員に事情を説明し必ず作成してもらうこと。シラバスがない科目については単位換算申請できません。
	クラススケジュール(各科目の時間割)	各科目の時間数(1科目あたりの総時間数あるいは授業の曜日・時限および1限あたりの時間)を示す書類 ※シラバスや成績証明書等に記載されている場合は不要。
受取るもの 帰国後に	修得単位換算願・単位換算計算用紙	Loyolaダウンロードセンターから入手
	Evaluation Form ※国際教養学部のみ	国際教養学部事務室にて受け取る

\* 帰国後、提出書類を元に単位数の計算根拠等の確認を行います。これらの書類がすべて揃わないと、単位換算手続きができないので、十分注意すること。

\* 換算内容によっては、上記の書類を英語または日本語に翻訳する必要があります。不明な点は学事センターに問い合わせること。

\* 「語学科目」を換算希望の場合

- (1) 内容が判定できる書類(シラバス、テキスト、テスト等)が必要です。
- (2) 原則として単位換算時には留学先の大学で修得した語学科目のレベルは問いませんが、各自のレベルに見合った科目を履修してください。なお、わからないことがある場合には事前に学事センター(教務)に相談してください。

\* 全学共通科目の「高学年向け教養科目(22年次生以降は「高学年向け科目」)に換算を希望の場合、原則として、ナンバリングでの説明やシラバスなどに高学年・上級生向けなどの記載が必要となります。

\* “tutorial”や“independent study”など、一定の授業時間を持たず、レポートや論文などの成果物をもって成績評価される科目があります。これらの科目を換算希望の場合は、論文と詳細な論文指導内容の提出を求められますので、担当教員にシラバスを作成してもらってください。

\* 2020年度以降は、オンライン科目についても単位換算は可能です。ただし、オンライン科目であっても、上記クラススケジュールの提出が求められますので、ご注意ください。オンデマンド授業等で、授業時間の設定がない科目は単位換算できません。

【注意】 大学によっては、必要事項が記載された書類が発行されていない場合があります。その場合は以下の書類を揃えてください。

- ① 授業内容や時間数に関しては担当教員のサインのある証明書
- ② 学年暦や成績評価基準に関しては交換留学オフィス等発行の書類、もしくはHP等のプリントアウト

特に授業時間に関しては、曜日・時限のある詳しい記述が必要ですので、注意してください。

## 2. 単位換算の計算式

留学先大学で単位が付与された科目が単位換算の対象です。不合格となった科目や単位が付与されない科目は単位換算できません。

以下(1)または(2)の計算式・基準時間により計算します。

$$(1) \frac{\text{1回の授業時間(分換算)} \times \text{週の授業回数} \times \text{科目の開講期間(週数)}}{\text{上智大学の基準時間}}$$

$$(2) \frac{\text{総授業時間数} \times 60 \text{ (分換算)}}{\text{上智大学の基準時間}}$$

### 上智大学の基準時間

科目種別	基準授業時間数
講義・演習	675分(1単位)
外国語・演習	1,350分(1単位)
実験・実習	2,025分(1単位)
体育実技	1,350分(1単位)

\* 単位換算の計算式の根拠となるクラススケジュールがないと換算はできないので、注意してください。

## 3. 単位換算願の手続

- (1) 帰国後、「修得単位換算願」および「単位換算計算用紙」に必要事項を記入します。
- (2) 前頁の必要書類をもって所属学科の指導を受け、「修得単位換算願」に指導印をもらいます。(卒業要件のどの科目区分に何単位分として認定してもらう予定か、また換算後の履修計画等を踏まえたうえで、換算を希望すること。)なお、学科指導を受ける前に、学事センターにて計算方法に間違いがないか、換算可能な単位数を確認しておくことを勧めます。
- (3) 原則、帰国後3カ月以内に、前記必要書類を学事センター(教務)に提出してください。(換算が終わるまで約1カ月を要するので、履修登録の日程を踏まえ、提出の時期を考えること。成績証明書は返却しないので、注意すること。)連続して複数のプログラムに参加した場合は、全てのプログラムの終了・帰国後3カ月以内に提出することも可能です。

\* 留学による単位換算を含む単位認定の取り扱い期間  
 春学期単位認定分として取り扱う期間: 2024年1月23日(火)~2024年7月19日(金)  
 秋学期単位認定分として取り扱う期間: 2024年7月22日(月)~2025年1月20日(月)

上記の期間内に全ての必要書類を提出することが必須となります。2019年度以前入学の国際教養学部生は学費請求の都合上、上記にかかわらず次学期の単位認定となる場合があります。

留学単位換算により認定された単位は各学期・年度の最高履修限度には含まれません。  
 (例: 3年次春学期の最高履修限度が28単位、年間上限が48単位だった場合、当該学期に30単位換算したとしても、春学期28単位まで、年間48単位までの履修登録が可能です。)



- (4) 換算に際し必要がある場合には、さらに書類の提出や面接を求められることがあります。
- (5) 換算が終わると教学支援システム“Loyola”の掲示板機能にて呼び出しを行なうので、必ず学事センター（教務）で換算後の修得単位換算願の写しを受け取り、卒業要件や今後履修すべき科目等よく確認してください。（単位換算をすると、卒業に必要な単位数の計算が複雑になるので十分な注意が必要です。不明な点は換算後すぐに相談すること。なお、この写しは再発行されない為、卒業まで大切に保管すること。）
- (6) 換算に際し提出した書類はいかなる理由があっても返却できません。必ず事前に写しを取っておいてください。

#### 4. 注意

- (1) 留学による単位換算は1プログラムにつき1度しかできません。また、決裁後の換算内容の変更等も一切できません。単位換算はその後の履修計画や卒業要件に関わりますので、学科の先生と面談のうえ、慎重に行ってください。

なお、以下のことはできませんので、注意してください。

- ・ 郵送や代理人による申し込み。
- ・ 本学休学中に海外の大学で修得した科目の単位換算。
- ・ 体育以外の実技科目（例えばタイプライティング、ピアノ等音楽のレッスン、陶芸、デッサンなど）の単位換算。
- ・ オンラインで行われる授業科目の単位換算。
- ・ 日本語が母語の学生の語学科目としての日本語（日本語の修得を目的とした科目）の単位換算

#### 5. その他

- (1) 計算して例えば3単位となった科目の同種別科目を2つ合わせて6単位換算し、この6単位をもって4単位の必修科目等に充当させることがあります。
- (2) 学科科目として換算を希望する場合、換算する科目ごとに計算した結果、小数点第1位までの和をもって総換算単位とすることができます。（総換算単位の小数点以下は切り捨て）

（例）学科科目

科目名	計算結果
国際政治	4.5
アメリカの政治	4.2
経済学	3.2
ジェンダー論	0.9

計算結果合計 = 12.8 単位  
換算単位 = 12 単位

- (3) 全学共通科目として換算を希望する場合も、前記(2)の方法に準じますが、各カテゴリー別（必修、選択必修、選択）に換算します。
- (4) 本学の成績証明書上、「留学による単位換算」●単位と表記され、成績評価は「N」となりGPAの計算には含まれません。



## 第V部 | 留学に必要な準備

part 5. Preparation for Study Abroad



## 1 留学中の留意点

### A 危機管理

自然災害、感染症、テロ、交通事故、暴力犯罪等に留学生が巻き込まれる可能性は常にあり、実際に本学学生が事故や盗難の被害などに遭ったケースも報告されています。

防ぎきれない突発事故がある一方、「自分の身は自分で守る」という意識を持って渡航し、日ごろから各自が注意することで未然に防止できる事件・事故も多くあります。

自分の身は自分で守る、ということを再認識し、現金や貴重品の取り扱いに注意する、暗い道の一人歩きは避ける、危険地域には近づかない、SNS上で個人の活動動向が容易に特定できるような発信は控えるなど、留学中は日本で生活する時以上に安全に注意して行動することが大切です。

渡航先の治安・医療事情の最新情報は出発前に必ず入手してください。また、現地警察・滞在先の在外公館の電話番号、保険会社の連絡先、留学先大学の緊急連絡先などは常に携帯しておくといざというときに役立ちます。

#### ①上智大学の海外留学、派遣プログラムの実施判断基準

上智大学で公式に実施する派遣留学プログラム（長期の交換留学や短期プログラム等）では、渡航地域は危険情報・感染症危険情報の発出がない地域もしくはレベル1「十分注意してください」までです。危険レベル2以上の場合は、プログラムの取りやめを判断しています<sup>(\*)</sup>。また、現地の情勢悪化等があれば、派遣者の安全を優先し、現地状況を確認のうえレベルに関わらずプログラム実施の取りやめを判断することもあります。最新の大学方針を本学HPで確認してください。

自身で留学・渡航計画をする際も、外務省の危険レベルに留意して計画を立てると共に、レベル2以上の地域への渡航は見送りすることも検討してください。

\*感染症危険レベルが2以上の場合、HP記載の指示に従うこと。

【外務省海外安全ホームページ】 <https://www.anzen.mofa.go.jp/>

安全な渡航・滞在のための情報を国・地域別に掲載しています。現地情勢や感染症の発生状況、安全対策の目安を4つのカテゴリ（次ページ参照）に分けて掲載しているほか、対象者ごとのお役立ち情報もあり、渡航先、滞在先の危険レベル、安全情報の収集に役立ちます。

同一国内でも地域により状況は大きく異なります。渡航前には現地の治安情報、渡航ルートや安全状況も十分考慮のうえ留学計画を立てるようにしてください。

#### 【外務省世界の医療事情】

各地域の衛生医療事情やかかりやすい病気や怪我、および健康上の留意点、予防接種情報等が記載されています。

<https://www.mofa.go.jp/mofaj/toko/medi/index.html>

#### 【外務省の危険レベル】

危険レベル	説明
発出なし	危険情報や感染症危険情報は出ていなくても、「安全」というわけではありません。最新のスポット情報や安全対策基礎データ等を参照の上、安全対策に心がけてください。
1 「十分注意してください。」	その国・地域への渡航、滞在に当たり、危険を避けていただくため特別な注意が必要です。 [大学プログラムの実施は原則このレベルまで]
2 「不要不急の渡航は止めてください。」	その国・地域への不要不急の渡航は止めてください。渡航時は特別な注意を払うとともに、十分な安全対策をとってください。
3 「渡航は止めてください。（渡航中止勧告）」	その国・地域への渡航は、どのような目的であれ止めてください。 (現地に滞在している日本人の方々に対して退避の可能性や準備を促すメッセージを含むことがあります。)
4 「退避してください。渡航は止めてください。（退避勧告）」	その国・地域に滞在している方は滞在地から、安全な国・地域へ退避してください。どのような目的であれ新たな渡航は止めてください。



#### ②危機管理ガイダンス

学期中には、各種留学プログラム参加者向けの危機管理ガイダンスを実施しているほか、私費留学や課外活動、学会参加等の海外渡航者も対象の「安全管理ガイダンス」を実施していますので、渡航前に参加してください。

#### ③渡航時の対応必要事項

##### 留学中滞在先および連絡先の周知

留学期間中の緊急連絡先（現地の寮の電話番号、メールアドレス等）は家族、日本の知人、大学関係者（現地および本学）に必ず知らせてください。また、留学中に旅行で宿舎を長期間不在にするときや転居する場合も必要などところに必ず連絡してください。日本にいる家族・知人はあなたが思っている以上に心配しています。こまめな連絡を忘れないように心がけ、滞在国や地域で事件や事故、災害などがあった場合は、自分から家族へ連絡し、無事を知らせてください。

##### 在留届とたびレジ

3カ月以上海外に在留する日本人は法律により最寄りの日本大使館・領事館に「在留届」を提出することが義務付けられています。留学先到着後速やかに手続きが必要です。

「たびレジ」は、海外に3カ月未満滞在する際に登録すれば、滞在先の最新の渡航安全情報や緊急事態発生時の連絡メール、いざという時の緊急連絡などが受け取れる外務省の海外旅行登録システムです。3カ月未満のプログラムに参加する方や留学先から第三国へ旅行する際には、旅行日程・滞在先・連絡先等を必ず登録してください。（「在留届」を提出する場合は必ず登録されます）



たびレジ

## C メンタルヘルスについて

新型コロナウイルス感染症の世界的なパンデミックによる留学への影響は落ち着き、留学を考えているみなさんは、希望や期待が大きくなっていることでしょう。

準備を進める際、留学先で体調を崩すことは想定しても、「自分が心の調子を崩す」ことを想像することは少ないかもしれませんが。実際は、落ち込みや不安、ストレスがきっかけとなる心の不調を経験することは、誰にでも起こり得ることで。準備の段階や留学先で心がけられることを以下に紹介しますので、試してみてください。

渡航前に、留学の目的や目標を大小、複数持ちましょう。思うようにならないことはどうしてもあります。一旦は落ち込んでも、他の目標や目的は、元気が出てきたときにやる気を助けてくれるでしょう。

心身のストレス反応に気づくことも大切です。不調を感じ始めた時、自分の変化に気づくことができれば、対処できることもあります。大きな負荷がかかった際の反応は、人それぞれです。どんな反応を経験しやすいか、留学準備の段階で振り返り、考えてみてください。身体面（不眠、過眠、食欲不振、過食、腹痛、頭痛、回復しない疲労感）、感情面（不安、イライラ、焦り、強い緊張、落ち込み、孤独感、無気力、無力感、自責感など）、行動面（自室にこもる、人や物に当たるなど）に注目してみます。

その上で、ストレスへの対処として、どういったことが自分にとって気分転換になるか、セルフケアになるか、意識してみましょう。例えば音楽を聴く、授業と関係ない本を読む、身体を動かす（散歩、ジョギングなど）、自然に触れる、親しい人と話す、意識的に早く寝るなどです。SNSはかえって負担になることもあります。状態によっては、思い切って見るのを控えることも考えてください。事前に留学先のコミュニケーションや対人関係の特徴を知ること、先輩の体験談を読むことも、渡航後の助けになるかもしれません。

現地到着後しばらくは、生活に慣れることが大切です。起床後カーテンを開ける、適切な食事や睡眠をとるなどを心がけてみましょう。最初は、多少不安があっても、新しい環境に慣れようと、エネルギーや行動力が自然と湧くかもしれません。慣れてくると、うまくいかないことで落ち込むことも経験するかもしれません。ストレス反応に気づいたら、焦らず、気分転換やセルフケアを実践します。わからないことをそのままにしたり誰かが教えてくれるのを待つのではなく、自分から質問したり人に働きかけたりする、自室に1人でこもらないなども意識してみてください。

自分なりに対処しても、落ち込んだ状態や孤独感、無気力などから抜け出せない、夜眠れない、食欲がない、疲労感が回復しない、勉強に集中できない、人との接触や交流を避けるなどの状態が続く場合は、早めに家族や友人、専門家などに相談し、自分ひとりで抱え込まないようにすることが大切です。

メンタルヘルスに関して、渡航前であれば学内のウェルネスセンター（健康支援）やカウンセリングサービスで相談することもできます。渡航後は、留学先の留学生支援担当者に相談し、適切な相談先を紹介してもらいましょう。

## B 海外留学保険および危機管理サービスへの加入義務について

交換留学をはじめ、海外渡航プログラムに参加することは、長期・短期を問わず語学力の向上や異文化対応能力を身につける絶好の機会となります。その一方で、安全で衛生管理の行き届いた日本社会に暮らす私たちには予想できないような環境や、不測の事態に対応しなければならないことも起こりえます。

上智大学ではこうした事態に対応できるよう、学生のみなさんの海外渡航時の危機管理体制を構築・運用しており、大学に届出を提出して海外渡航する学生のみなさんには全員、大学の指定する保険ならびに危機管理サービスに加入することを義務づけています。

### ●対象者

大学が関知するすべての海外渡航プログラムに参加する学生

（個人的な旅行などを除き、大学のプログラムの一環として海外に渡航する者。一般留学や休学留学も含まれます。）

No.	プログラムの種類
1	交換留学
2	海外短期プログラム（語学講座、短期研修、実践型プログラム）、インターンシップ科目
3	グローバル教育センターが提供する1、2以外のプログラム
4	学部・学科などグローバル教育センター以外が主催するプログラム* *ドイツ語学科・ドイツ文学科「在外履修」、総合グローバル学部「自主研究」、キャリアセンターが取り扱うインターンシップ等
5	一般留学・休学留学
6	研究発表（学会参加）・課外活動・ゼミ合宿等による海外渡航・特別研究員DC1/DC2

海外での課外活動の実施は加入の要否を確認しますので、まずは学生センターに問い合わせください。

### ●大学指定保険ならびに危機管理サービス

本学では海外旅行保険と危機管理サービスについて、三井住友海上火災株式会社と日本エマージェンシーアシスタンス株式会社（EAJ）と企業包括契約を締結しています。

大学で実施するプログラムの他、一般留学や休学留学、学会等で大学宛に届け出のある海外渡航では全員下記aとb両方への加入が必要です。

渡航予定日の3週間前までにグローバル教育センターへお問い合わせください。

〈上智大学海外渡航支援制度〉 問い合わせ先：グローバル教育センター

a. 三井住友海上火災海外旅行保険（SOPHIA 海外留学保険）

b. EAJ危機管理サービス（OSSMA/オスマ）

同補償内容の海外旅行保険に比べ保険料が抑えられます。また、提携先との連携により、24時間365日対応の本学学生・保証人の方からの事故その他事項の相談用窓口を設け、海外渡航中のサポート体制を用意しています。



## 2 留学のための語学能力試験

### A TOEFL iBT®テストについて

TOEFL iBT®テストは、アメリカの教育団体ETSを運営母体として、大学の授業で実際に使う英語能力を「読む」「聞く」「話す」「書く」の4技能で測ります。このテストでは、授業と同じように、受験者が教科書の抜粋を読んだり、講義を聞いたりした後、それを基に話したり書いたりします。テストは100%学術的な設問や課題で構成されるため、多くの大学で入学選考や留学生の受入に利用されています。

名 称：TOEFL iBT®テスト  
 主 催：ETS <https://www.ets.org/toefl>  
 問い合わせ先：ETS Japan 合同会社 TOEFL®テスト日本事務局  
<https://www.etsjapan.jp/>  
 受 験 料：US\$ 245 (受験日の7日前まで)  
 構 成：Reading, Listening, Speaking, Writingの4セクション  
 所 要 時 間：約2時間

結 果：受験日より約6日後にオンライン上の自分のアカウント (My TOEFL Home) でスコアの確認が可能になります。発送されるスコアレポートにはETSから教育機関に発送される Official Score Reportsと本人控えとして送られる Test Taker Score Reportの2種類があります。Test Taker Score Reportは本人が希望した場合のみ送付されます。ETSからスコアレポートが発送されるのは試験日から約11日後です。  
 採点処理はETSで行われるため、結果到着が前後することもあります。  
 日程に余裕を持って受験してください (送付先がアメリカ国外の場合、発送から到着まで4~6週間程かかります)。

スコア：TOEFL iBT®テストのスコアは0-120 (各セクションのスコアは0-30)。公式スコアの有効期間は受験日から2年以内。公式スコアの有効期間内はETSから教育機関へスコアを直送してもらうことが可能で、大学によってはこの方法でのスコア提出を求められます。®=登録商標のこと

### B IELTSについて

IELTSは、イギリスのブリティッシュ・カウンシルとケンブリッジ大学英語検定機構、オーストラリアのIDP：IELTSオーストラリアが共同運営の上、海外留学や研修のために英語力を証明する必要がある場合に多く利用され、イギリス、オーストラリア、カナダ、ニュージーランドのほぼ全ての高等教育機関で認められている試験です。「読む」「聞く」「話す」「書く」の4技能で英語能力を測ります。日本国内では複数の団体が実施運営しています。  
 ※イギリスへ留学する場合には、IELTSスコアが必ず必要になります。

名 称：IELTS (International English Language Testing System)  
 問い合わせ先①：公益財団法人日本英語検定協会 IELTS事務局 (JP500)  
 ウェブサイト：<https://www.eiken.or.jp/ielts/>  
 〈IELTS公式東京テストセンター〉  
 TEL：03-3266-6852 Email：jp500ielts@eiken.or.jp

問い合わせ先②：一般財団法人日本スタディ・アブロード・ファンデーション (JSAF)  
 〈IELTS公式テストセンター東京 (JP112)〉  
 TEL：03-6273-9356  
 ウェブサイト：<https://www.jsaf-ieltsjapan.com/>

問い合わせ先③：パークレーハウス  
 〈IELTS公式テストセンター〉 (JP223)  
<https://berkeleyhouse.co.jp/ielstestcentre/>  
 TEL：050-5497-1113

問い合わせ先 (その他)：ブリティッシュ・カウンシル (<https://www.britishcouncil.jp/exam/ielts>) やIDP (<https://ieltsjp.com/japan>) でもテスト実施や情報提供をしていますので参照してください。

受 験 料：1人1回あたり25,380円 (税込) ~ (運営団体により異なる)  
 実施日程・申込締切・結果発送時期：各テストセンター、実施形式で異なるため、各々確認すること

構 成：Writing (60分), Reading (60分), Listening (30分 + 解答転記時間10分), Speaking (11~14分)

※交換留学出願のためには、「アカデミック・モジュール」を受験してください。

テスト結果：1.0~9.0まで0.5刻みのバンドスコアで表示。成績証明書 (Test Report Form) には、各技能のバンドスコアと、総合評価としてオーバーオール・バンド・スコアの計5種類のスコアが表示されます。公式スコアの有効期限は筆記テスト実施日から2年以内となります。

### 3 留学費用について

#### A 滞在費について

留学先の地域、滞在期間、留学先(大学、語学学校等)、滞在先宿舎や休暇中の過ごし方および為替レートによっても変わりますが、滞在費として概ね下記の金額が目安となります。

1年間留学する場合： 150～300万円程度  
1学期間留学する場合： 80～150万円程度

※交換留学の場合、留学先大学での授業料は免除されます。→P.33参照  
私費留学(一般留学・休学)の場合、上記金額に更に留学先授業料が必要となります。

滞在費以外でも、出発前に必要な経費もあります。留学前に全滞在期間中の留学費用の支弁証明書を求められることも多いので、十分な資金計画を立ててください。滞在費以外に必要なもの

- (例)
- 渡航費用、ビザ取得費用、渡航先で加入が求められる保険(国や大学による)
  - 健康診断、予防接種費用
  - 海外留学保険・危機管理サービス加入費用 等

#### B 海外勉学中の上智大学学費について

形態	学費
・交換留学 ・一般留学(1年以内)	留学中も在学生として通常通り本学の学費が請求されます。 ・留学中の本学での在籍状態：交換留学／一般留学(1年以内)＝「留学」 ※2019年度以前入学の国際教養学部生の場合、授業料は単位換算によって本学において修得したものとみなされる単位数が確定した時に請求します。 ※修学奨励奨学金や新入生奨学金などの学費減免系の奨学金または国による高等教育の修学支援新制度を受給している場合は、留学前に学生センターに相談してください。
1年を超えて留学する場合	一般留学の継続または交換留学後に一般留学に切り替えた場合、または複数の交換留学プログラムに参加したことにより留学期間が1年を超えた場合は、一部減額措置があります。* 詳しくは学事センター学費担当にお問い合わせください。
・海外短期語学講座 ・海外短期研修 ・実践型プログラム	通常通り本学の学費が請求され、参加には別途プログラム費用がかかります。(一部プログラム費用が免除となるコースもあり)
インターンシップ科目(長期／短期)	長期、短期ともに通常通り本学の学費が請求されます。 ※2019年度以前入学の国際教養学部生の場合、予め指定された単位数分の学費が請求されます。
休学して留学	本学学費の減額措置があります。* 詳しくは学事センター学費担当にお問い合わせください。

\*本学ウェブサイト参照：www.piloti.sophia.ac.jp/jpn/tuition/gakuhiengenngaku

#### C 奨学金について

世界情勢に伴い、留学奨学金取り扱いにも変更が生じる場合があります。各奨学金の募集前には掲示が出ますので、Loyolaや本学HPで最新情報を確認してください。

留学に関する給付奨学金(返還不要)は、大きく分けて①公費奨学金(日本および各国の政府関係機関等から)、②民間財団基金や企業等の奨学金、③本学および留学先大学の奨学金の3種類があります。応募方法は、大学を通じて応募するものと個人で直接応募するものがあります。

#### 大学を通じて応募する奨学金

下記奨学金は、本学で選考を行うものおよび本学から推薦された後に奨学金支給団体による選考が別途行われるものです。この他の様々な奨学金がありますが、いずれも募集情報は都度Loyola掲示板または本学ウェブサイト等でお知らせします。

名称	対象	支給内容	条件等
日本学生支援機構(JASSO)海外留学支援制度(協定派遣)奨学金	交換留学生  インターンシップ科目(海外実習先)	地域によって 月額6-10万円 渡航支援金(条件有)  地域によって 月額6-10万円 渡航支援金(条件有)	交換留学学内選考合格者を対象に募集。時期によっては割当がない場合もある。本学からは2023年度は年間89名採用。  JASSOより採択されたインターンシップ科目の参加者のうち、定められた条件を満たす者へ支給される。本学からは2023年度は年間1名採用。
海外留学奨励費	「一般留学」者	上限10万円(1学期) 上限20万円(2学期)	「一般留学」の形態で留学する者。(2023年度1名採用)
日本学生支援機構(JASSO)海外留学支援制度(大学院学位取得型)奨学金	上智大学卒業後、海外の大学院にて修士・博士の学位取得を目指す学生	授業料(上限250万円)および地域によって月額89,000円～148,000円	成績・語学力の基準、年齢制限あり。本学からは2023年度は4名採用。
ケルン奨学金	ドイツのケルン大学に留学する交換留学生	月額650ユーロ	交換留学学内選考後、派遣決定者の中から選考。年間1名採用。
よしや アイリン 吉彌・愛琳 アイルランド 留学奨励費	アイルランドへの交換留学生	15万円	交換留学学内選考後、派遣決定者の中から選考。年間1名採用。
大坂ドイツ留学奨励費	ドイツへの交換留学生	10万円	交換留学学内選考後、派遣決定者の中から選考。年間3名採用。

名称	対象	支給内容	条件等
大学の世界展開力強化事業後継事業 (SAIMS/LAP) 留学奨励費	SAIMSプログラム またはLAPの 交換留学生	渡航支援金5万円	原則、1大学につき1名に支給。
グローバルリーダー養成奨励費	海外短期研修 参加者/ 交換留学生	5~15万円	指定のプログラムで留学する者。 2024年度は海外短期研修参加者を 対象に支給予定。
上智大学篤志家 (理工学部同窓会) 奨学金	理工学部開講の 海外短期研修 参加者	8万円 (予定)	出願先：学生センター 対象：同プログラムに参加する理工 学部および理工学研究科の学生。 出願時期や出願方法については Loyola掲示板を見ること。詳細は学 生センターに問い合わせること。
ソフィア会 留学支奨奨学金	長期：交換留学生  短期：海外短期語 学講座、海外短期 研修、実践型プロ グラム等	交換留学：JASSOに準 ずる。地域によって月額 6万~10万円  短期・実践型：プログラ ムにより10万~40万程 度	上智大学の全学同窓会組織である上 智大学ソフィア会からの寄付により 設立した奨学金。要件、募集時期は 対象者に別途案内する。 2023年度実績： 交換留学 (長期) 6名 短期プログラム (短期) 14名
叡智が世界を繋ぐ 奨学金	年度により異なる	プログラムにより異なる (23年度はプログラムに より月額6~10万円)	2023年度実績： 短期プログラム (短期) 25名
SCS(ソフィアキャ ンパスサポート) 留学奨学金	スイス Graduate Instituteとの 3+2プログラム	1人当たり50万円	学内選考合格後、対象者に案内の 上、応募者に対して支給 2023年度実績：1名
	海外短期語学講 座、海外短期研 修、実践型プロ グラム	プログラムにより 8万円~10万円	奨学金の用途やプログラム参加の目 的、今後の学業目標などを総合的に 判断 2023年度実績：33名

その他、募集のある奨学金はLoyolaダウンロードセンターに掲示します。

また、学生センターでは以下の留学中貸与奨学金 (日本学生支援機構) の募集を行っています。出願要件・期間等の詳細は学生センターに問い合わせてください。

・「第二種奨学金【海外】」(海外大学・大学院への進学者が対象、有利子)

#### 個人で直接応募できる奨学金

Loyolaや日本学生支援機構のホームページを参照してください。

<https://ryugaku.jasso.go.jp/scholarship/>



## General Information on Study Abroad





## General Information on Study Abroad for Students in English-taught Undergraduate/ Graduate Programs

Degree students enrolled in the programs where English is the medium of instruction, such as FLA (Faculty of Liberal Arts), FST (Faculty of Science and Technology), SPSF (Sophia Program for Sustainable Futures) etc. may study abroad for long term through the Sophia Exchange Program or the General Study Abroad Program.

Students in those programs are regarded as being enrolled at Sophia while abroad, and may study abroad for one quarter or several quarters (depending on the program) without taking a leave of absence. Also credits from an approved overseas institution may be transferred back to Sophia.

### ◎ Overview of Sophia Study Abroad/Global Education Programs

Degree-seeking students who meet requirements for participation are eligible. Some programs require proficiency in Japanese.

For details of each program category, please see application documents from the past available at Loyola Download Center>Center for Global Education and Discovery.

#### 【Important】

Article 40\* of University Regulations (for undergraduate students only) :

Students who fail to obtain 32 credits or more including subjects specified by undergraduate departments in two consecutive academic years\*\* shall be dismissed from the university.

#### \*Preferential Measures

Upon deliberation by the faculty meeting and with an approval from the president, a student who is in the third-year or above, and who has taken less than 32 credits in two consecutive academic years may be exempted from expulsion by Article 40, if the total number of credits taken divided by the number of total years of enrollment is more than 16 credits. In this case, the academic year which includes the period of leave of absence is not counted in the total period of enrollment but the credits earned shall be included in the total number of credits taken.

In the case of the students of the FLA, the English Programs in FST, and SPSF, the total number of credits earned divided by the number of semesters of enrollment should be more than 8 credits.

\*\*“Two consecutive academic years” refers to two academic years of

enrollment. If the student takes a leave of absence, the academic year that includes the period of leave of absence will not be counted as a part of the “two consecutive academic years,” and instead, the academic years before and after the year of leave of absence will be considered as those “two consecutive years.” (For FLA, FST and SPSF students, four semesters excluding the semester on leave of absence will be regarded as “two consecutive academic years.”)

NB : Students who plan to study abroad on their own and do not wish to transfer the credits from the study abroad back to Sophia may take a leave of absence from Sophia for the time they are away. But if they take a leave of absence, their graduation will consequently be delayed. Regarding payment of fees, please refer to P.66.

### ◎ Information Available on Loyola

(Refer to Bulletin Board and Download Center of the Center for Global Education and Discovery)

- Information on applications for Sophia Exchange Program
- Other study abroad programs sponsored by Sophia
- Scholarships for study abroad etc.
- Information sheets of exchange partner institutions
- Reports written by former exchange students

### ◎ Sophia Exchange Program

#### 【Program Offered】

As of March 2024, 335 destinations for exchange program are available to Sophia students.

Applications for some institutions may not be accepted every year depending on the exchange balance of the incoming and outgoing students.

Information sheet of each institution and other materials are available on Loyola (Download Center).

#### 【Advantages of Participation】

Exchange students can study abroad either one semester (2 quarters) or one year (4 quarters) without taking a leave of absence.

Therefore graduating from Sophia in 4 years for the undergraduate students and in 2 years for the master's students (depending on the situation) including the period of study abroad may be possible. Once they are selected as exchange candidates, the Center for Global Education and Discovery will assist with the application procedures of the prospective host institution.

### 【Credit Transfer】

For the undergraduate students, up to 30 credits obtained at the host institution can be transferred to Sophia, subject to approval by the chairperson of each student's department.

Graduate students should inquire at the Center for Academic Affairs about credit transfer.

The transfer factor for credits basically depends on time spent in class. 675 minutes constitute one credit at Sophia. In the case of a foreign language class or seminar, 1,350 minutes are regarded as one credit. Credits should be calculated to the first decimal place.

The formula is as follows:

minutes of the class × times per week × number of weeks ÷ 675 (or 1,350) = number of the credits which may be transferrable to Sophia

In some cases, transferred credits may be combined together: for example, 4.5+4.2+3.2+0.9 credits may be combined together as 12 credits.

### Required Documents for Credit Transfer

The following documents should be submitted to the Center for Academic Affairs within three months after returning from overseas.

- ① Credit transfer application form and calculation form (available on Loyola, Download Center)
- ② Evaluation Form (FLA only, available at the FLA office)
- ③ Documents issued by the host university
  - Official transcript (original in English)<sup>\*1</sup>
  - Document which shows the grading system (may be indicated on the official transcript)
  - Course descriptions / syllabus
  - Course schedule
  - Academic calendar

※1 Official transcript must be submitted in one of the following ways.

1. Official transcripts (Hard copy) \*Must be the original copy
2. Official transcripts (Soft copy) that are directly sent to Sophia University.

\*Soft copies that are sent directly to students are not accepted.

It will be the student's responsibility to ask the host institution to send the soft copy to the relevant address noted below, depending on the participated program.

### 【Sophia Exchange Program】

Send to: Center for Global Education and Discovery  
E-mail: outbound-co@sophia.ac.jp

### 【Short-term Program (UCLA, ESSCA)】

Send to : Center for Global Education and Discovery  
Email : short-outbound-co@sophia.ac.jp

### 【General Study Abroad】

Send to: Center for Academic Affairs  
E-mail: academic\_affairs\_transfer\_2-co@sophia.ac.jp

\*This email is only for receiving official transcripts. Do not send any message regarding other inquiries or documents. Also note that application for credit transfer cannot be completed via email. Please visit the Center for Academic affairs in person with other required documents.

- \* To transfer credits for the language courses, documents such as syllabus and textbooks are necessary to check the content of the course. If you were placed in an appropriate level at the host institution, level of the language course taken while abroad do not need to be the same as the level of courses taken at Sophia. If you have any question, please consult with the Center for Academic Affairs.
- \* To transfer credits for courses such as “tutorials” and “independent study”, please obtain syllabus that include details and outlines of the course, with specification of tasks and reports that were required.

Online courses taken after 2020 can be transferred.

Note that class schedules of online courses will be required to transfer the credits.

Please note that the credit transfer procedure usually takes one month after submission, and the completed documents must be submitted in time to be transferred for each semester.

Application period to transfer credits into Spring Semester 2024 : Jan. 23 (Tue.) to Jul. 19 (Fri.), 2024

Application period to transfer credits into Autumn Semester 2024 : Jul. 22 (Mon.), 2024 to Jan. 20 (Mon.), 2025

When the credit transfer is approved, you will be notified via Loyola web system. Please come to the Center for Academic Affairs to pick up the copies of the approved documents. Please note that you will not be able to make any changes on transferred credits, once approved.

### ◎ General Study Abroad Program

Students who plan to study abroad on their own at a degree-awarding institution and wish to transfer the credits back to Sophia must apply in advance to the

General Study Abroad Program. They should have finished at least 4 quarters and have obtained more than 32 credits at Sophia by the time they begin their General Study Abroad Program. (For graduate students, 10 credits or more are required.) "Request for Study Abroad" (留学願) must be submitted 1 month prior to the start of study abroad and by the day before the first day of the quarter.

General Study Abroad students may study abroad for one quarter or more quarters (in total up to 4 quarters). If students wish to extend the period, they can reapply for the study abroad program (in total up to 2 years). In this case, only one year is considered as residence requirement. Credit transfer arrangements are the same as those for the Exchange Program students. Students must apply independently for an approved institution and arrange their own accommodation.

### ◎ Tuition and Fees during Study Abroad

Exchange students will pay tuition and fees only to Sophia\*, but General Study Abroad students must pay tuition and fees both to Sophia and to the overseas institution. Travel and living expenses should be covered by the students. The cost will vary greatly depending upon the destination, currency exchange rates, the student's life style and how they spend the holidays.

Some scholarships are available to the participants in the exchange program.

Please see P.59, 60 for details.

\*If exchange students participate in a language program of the host university before the regular courses start, they are responsible for the tuition fee for the course. This also applies to spring and summer session programs at the host university.

Payment arrangements for students who entered the Faculty of Liberal Arts in or before Academic year 2019

After the credit transfer is finalized at Sophia, the bill for the tuition will be issued.

NB : Contact the Center for Student Affairs for questions about tuition support scholarship while studying abroad.

For tuition and other fees for the second year in study abroad, contact the Center for Academic Affairs (1st fl, Bldg. No.2) .

### ◎ University-designated Study Abroad Insurance and Crisis Management Service

All Sophia students planning to study abroad (including those by General Study Abroad Program or by leave of absence) are required to purchase a university-designated study abroad insurance and crisis management service for the period between leaving Japan and coming back to Japan. Insurance fees must be paid at the responsibility of a student, but at a discounted price. Please visit the Center for Global Education and Discovery at least three weeks before departure to receive insurance information.

## ◎ Sophia Exchange Program Application Procedures

### [A] Application Schedule

Application deadlines and selection dates depend on the areas where the host universities are located, but, internal selections, required for all exchange students, are usually conducted about 10 months before the departure for study abroad.

Information on exchange partner institutions (P.72~85) are subject to change without notice.

Please refer to Loyola for the most updated information.

\* Spring Departure : Early June of the year before

Autumn Departure : Early October of the year before.

### [B] Eligibility and Requirements

- Grade Point Average of 2.8 or above
- Sufficient language proficiency to study abroad\*
- Financial backing
- Undergraduate students who plan to apply for exchange program must have finished at least 3 semesters and earned 32 credits or more in the previous school year. (In case of FLA, FST, or SPSF students, 32 credits must be earned in four consecutive semesters before the start of the exchange program)

For graduate program students, 10 or more credits are required.

- Completion of a medical check-up held by Sophia every year. Students may not be allowed to study abroad depending on the results of medical check.
- Purchase a university-designated travel insurance and crisis management service (approx. ¥150,000/year) at Sophia for participation.

\* Submission of TOEFL iBT® score is compulsory for the applicants for English-speaking institutions, even for native speakers.

### [C] Notes of Importance

After internal screening at Sophia, nominated students will be screened by the host universities.

For students with the GPA below 3.0, the risk of rejection by the host universities becomes higher than those with the GPA 3.0 or above.

(1) Number of semesters to be completed at Sophia before going on exchange

The year the students must be in at the start of the exchange period is indicated on the list of exchange partners. (Cf. P.74~) First-year students may not apply for the universities indicated as "3," but they can submit the application for the universities indicated as "2." In addition, for exchange programs starting in the spring semester, those who entered in the autumn semester may have a chance to apply for the universities indicated as "3" (i.e. Students may be able to go on exchange from their 4th semester in some

cases). For further details, consult with the Center for Global Education and Discovery.

(2) Graduate students who wish to apply for the exchange program

Some exchange partner universities do not accept graduate students, and the office needs to make inquiries about individual case to a host university in advance. Please consult with the Center for Global Education and Discovery by the deadline designated in the application guideline.

(3) Period of study abroad

Period of study abroad will be either one year (10-12 months) or one semester (4 months). Students cannot change the period of exchange program after the results of the internal selection are finalized. However, if the academic calendar of the host university ends before the second / fourth quarter of Sophia University, students may shorten their exchange period to take classes offered in the second or fourth quarter (only applicable to one-year exchange students). For details, consult with the Center for Global Education and Discovery. A separate application must be filled in for "General Study Abroad" or "Leave of Absence" when a student wishes to continue to study abroad after the exchange period. Students can only participate in the exchange program once, except in case of combining LAP / SAIMS program and exchange program.

The maximum period allowed to be included into the residence requirement (8 semesters) in case of combining the exchange program and LAP/SAIMS is also up to one year only.

## [D] Application Materials

### (1) Certificate of Language Proficiency

#### ● English-speaking institutions

A TOEFL iBT<sup>®</sup> score is required for the internal selection for all applicants as well as IELTS score for UK institutions. Apart from this, each institution has the minimum language requirement (In general, a TOEFL iBT<sup>®</sup> score is required. Some institutions accept IELTS score as well).

#### ● German-speaking institutions

Applicants from departments other than Dept. of German Literature or German Studies should submit one of the following :

- 1) a certificate of the German Diploma in Japan (“準一級” Oberstufe or above)
- 2) a certificate of the Goethe-Institut examination (B1 or above)
- 3) a letter of recommendation from an instructor of Sophia which indicates applicant's level of language proficiency in the German language

#### ● French-speaking institutions

Applicants from departments other than Dept. of French Literature or

French Studies should submit one of the following :

- 1) a certificate of DELF B1 or TCF B1 or DAPF level 2 (仏検2級) or above
- 2) a letter of recommendation from an instructor of Sophia which indicates applicant's level of language proficiency in the French language

#### ● Spanish-speaking institutions

Applicants from departments other than Dept. of Hispanic Studies should submit one of the following :

- 1) a certificate of DELE B1 or above
- 2) a letter of recommendation from an instructor of Sophia which indicates applicant's level of language proficiency in the Spanish language

#### ● Italian-speaking institutions

Applicants should submit a letter of recommendation from an instructor of Sophia who is a native Italian speaker in principle, or certificates which indicate applicant's sufficient level of language proficiency in the Italian language.

#### ● Portuguese-speaking institutions

Applicants from departments other than Dept. of Luso-Brazilian Studies should submit a letter of recommendation from an instructor of Sophia or certificates which indicates applicant's sufficient level of language proficiency in the Portuguese language.

#### ● Russian-speaking institutions

Applicants from departments other than Dept. of Russian Studies should submit a letter of recommendation from an instructor of Sophia or certificates which indicates applicant's sufficient level of language proficiency in the Russian language.

#### ● Chinese-speaking institutions

Applicants should submit a letter of recommendation from an instructor of Sophia who is a native Chinese speaker in principle, or certificates which indicate applicant's sufficient level of language proficiency in the Chinese language.

#### ● Korean-speaking institutions

Applicants should submit a letter of recommendation from an instructor of Sophia who is a native Korean speaker in principle, or certificates which indicate applicant's sufficient level of language proficiency in the Korean language.

### (2) Application Forms for the Sophia Exchange Program

### (3) Pledge, Approval from your Guarantor and the Chairperson of the Department

### (4) Most Recent Official Academic Transcript (in English)

### (5) Health Certificate Issued by Sophia Health and Wellbeing Center

Information on application procedures will be announced on “Loyola” bulletin boards or download center. Please carefully read the information distributed by the Center for Global Education and Discovery.

### [E] Internal Selections

- (1) Screening of application materials
- (2) Interview

The selection of the outgoing exchange students are generally conducted based upon ① proficiency in the foreign language (TOEFL iBT® score for English-speaking institutions), ② GPA, and ③ marks at the interview.

### [F] Procedures After Internal Selection

#### Nomination to Exchange Partner Institution

Students who pass the internal selection will be nominated to a partner institution. The nomination from Sophia does not guarantee the acceptance from the host university. The host university will determine acceptance / rejection of the nominee based on its screening process.

The following conditions must be met in order to study abroad as an exchange student;

- (1) To be officially accepted by an exchange partner institution
- (2) To keep grade point average of 2.8 or above after internal selection
- (3) To maintain good health in their mental and physical condition.
- (4) To purchase the university-designated insurance and crisis management service.

#### Documents to be submitted

- Application form for Study Abroad, Pledge, etc.

The Center for Global Education and Discovery will inform the successful students of necessary paperworks. Housing arrangement will be made through host institution in most cases, but in some cases, students may need to look for a room on their own. Residential situations differ depending on regions or institutions.

- Most common required documents by host universities:

Application forms, recommendation letter, transcript, financial statement, health form including immunization records, official TOEFL® Score\*, etc.

\*Some exchange partner institutions require the official score report to be sent through ETS after Sophia selection. It is therefore desirable that the score has enough remaining period of validity.

- For graduate students, official scores of GRE or GMAT might be required after Sophia selection.

- Exchange students must submit a “Report on Study Abroad ” within one month after returning to Japan.

### ◎ Study Abroad Opportunities towards/after Graduation

#### ● The 5-year Concurrent BA-MA Programme

(Sophia University and the Graduate Institute of International and Development Studies)

Students chosen to participate in this program can receive a BA degree (3-3.5 years) from Sophia and a MA degree (2 years) from the Graduate Institute (GI) in Switzerland in total of 5 or 5.5 years, provided they successfully pass the screenings and complete both programs in accordance with each institution’s study regulations.

Students will complete their first year at the GI as an exchange student.

The application procedure and requirements will be announced at Loyola.

#### ● Special Admission for Overseas Graduate Schools

Sophia has a special admission process with several partner universities where Sophia can nominate several students to their graduate programs. Students successful in Sophia’s internal selection go through selection process of each graduate school. Final acceptance/rejection is decided by each graduate school, but with Sophia’s nomination, students may be able to receive some benefits such as early selection result notification, application fee waiver, etc.

Current agreements are with;

- Boston College (Lynch School of Education and Human Development)
- Georgetown University (Graduate School of Arts and Science)
- Fordham University (Graduate School of Arts and Sciences)
- Columbia University (Teachers College, School of Professional Studies)

#### Center for Global Education and Discovery (1st fl, Bldg. No.2)

Regular Office Hours: Monday - Friday 10:00-11:30 & 12:30-15:30

Office Hours during Summer and Spring recess: Monday - Friday. 12:30-15:30

\*Please note in advance that the office will be closed on designated school holidays.

(It is your responsibility to check the university’s academic calendar and official website for the holidays)



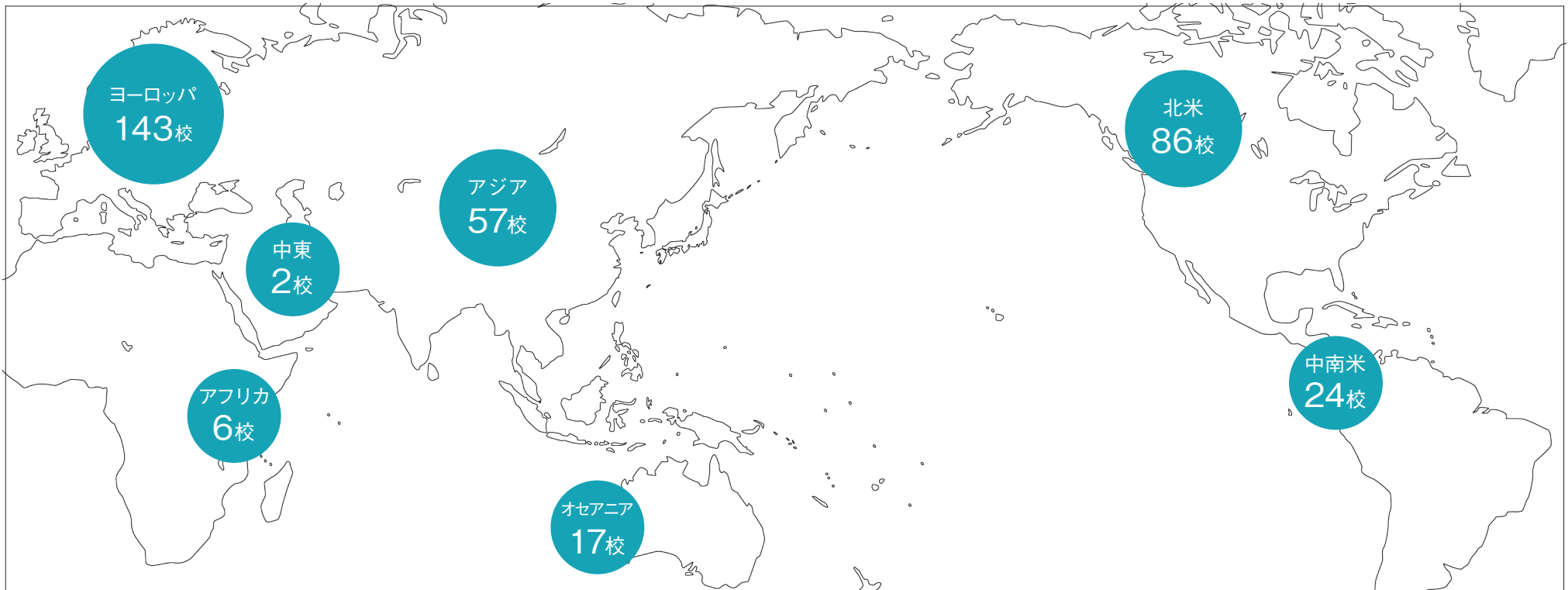
## 交換留学協定校一覧

次ページから掲載されている一覧は留学先大学教授言語により分かれており、国順で記載されています。また、各言語で留学に必要なとされる語学能力について記載されています。学内選考出願時に必要な各大学ごとの語学要件の参照方法は、Loyolaのダウンロードセンターに掲載される募集要項等を参照してください。

大学公式HPのWeb Piloti (HOME>グローバル化の取り組み>海外協定校一覧) から各協定校のホームページにアクセスすることができます。



2025年度出発交換留学の募集の有無は全ての大学で2024年4月1日現在未定です。また、掲載されている協定校は2024年3月1日現在の情報です。内容変更等については随時お知らせしますので、最新情報はLoyolaで必ず確認してください。



### 1) 出発時期

出発時期 (春学期出発または秋学期出発) 別に示しています。

各出発時期別の願書配布から留学開始までの学内選考の大まかなスケジュールは、P.29のA. 募集時期の表を参照してください。

### 2) 留学可能年次

留学可能な年次は協定校によって異なることがあります。また、募集年度によっては変更になる可能性があります。

※春出発の対象大学は全て留学可能年次が3年次以上 (5学期目以降) ですが、秋入学の学生については、2年次の春出発 (4学期目) も可能な場合があります。詳細はグローバル教育センターにお問い合わせください。

### 3) 語学要件

各大学の出願要件についてはLoyola>ダウンロードセンター>グローバル教育センターの「交換留学募集要項・出願書類」を参照してください。

## 協定校一覧

### 英語

留学に必要なとされる語学能力：

受験日から2年以内のTOEFL iBT® (P.56参照) の公式スコアの提出が必要。(「MyBest™ scores」の使用は不可。) UKの協定校を希望する場合は、TOEFL iBT® と併せてIELTS (P.57参照) のスコアの提出が必須。受験後、スコアが手元に届くまでの時間も見込んで、早めに受験しておくこと。

学内選考出願時に必要なスコアは希望する協定校により異なる。また、各セクションのスコア要件を求められる場合もある。語学要件を満たすスコアとして、IELTSのスコアが一部の協定校で認められている。各協定校の語学要件等については、募集要項等を確認すること。

Loyola > ダウンロードセンター > グローバル教育センター > 「交換留学募集要項・出願書類」

春学期出発 (学内選考の募集：前年の6月)			
所在国	大学名	所在地	留学可能年次 (P.73参照)
Australia	The University of Adelaide	Adelaide, South Australia	3年次以上
Australia	Australian Catholic University	6キャンパス有	
Australia	Griffith University	Nathan, Queensland	
Australia	La Trobe University	Melbourne, Victoria	
Australia	Macquarie University	North Ryde, New South Wales	
Australia	The University of Melbourne	Parkville, Victoria	
Australia	The University of Notre Dame	Freemantle, Western Australia	
Australia	The University of Queensland	Brisbane, Queensland	
Australia	Royal Melbourne Institute of Technology (RMIT University)	Melbourne, Victoria	
Australia	The University of Sydney	Sydney, New South Wales	
Australia	University of Technology, Sydney	Ultimo, New South Wales	
Australia	The University of Western Australia	Perth, Western Australia	
Australia	Western Sydney University	Sydney, New South Wales	
Australia	University of Wollongong	Wollongong, New South Wales	
Fiji	The University of the South Pacific	Suva	
New Zealand	The University of Auckland	Auckland	
South Korea	The Catholic University of Korea	Bucheon	
South Korea	Hankuk University of Foreign Studies	Seoul	
South Korea	Hanyang University	Seoul	
South Korea	Pusan National University	Busan	
South Korea	Seoul National University	Seoul	
South Korea	Sogang University	Seoul	
South Korea	Sookmyung Women's University	Seoul	
South Korea	Yonsei University	Seoul	
South Africa	University of Pretoria, Faculty of Humanities	Pretoria	
South Africa	Stellenbosch University	Stellenbosch	
秋学期出発 (学内選考の募集：前年の10月)			
所在国	大学名	所在地	留学可能年次 (P.73参照)
Brunei	Universiti Brunei Darussalam	Bandar Seri Begawan	2年次以上
Cambodia	Royal University of Phnom Penh	Phnom Penh	2年次以上

秋学期出発 (学内選考の募集：前年の10月)			
所在国	大学名	所在地	留学可能年次 (P.73参照)
China	The University of Hong Kong	Hong Kong	2年次以上
China	City University of Hong Kong	Hong Kong	2年次以上
China	The Chinese University of Hong Kong	Hong Kong	2年次以上
China	The Chinese University of Hong Kong, Shenzhen	Shenzhen	2年次以上
China	The Education University of Hong Kong	Hong Kong	2年次以上
China	The Hong Kong University of Science and Technology	Hong Kong	2年次以上
China	University of Macau	Macau	2年次以上
China	Beijing Foreign Studies University	Beijing	2年次以上
China	China Foreign Affairs University	Beijing	2年次以上
China	Fudan University	Shanghai	2年次以上
China	Peking University	Beijing	2年次以上
China	Renmin University of China	Beijing	2年次以上
China	Shanghai International Studies University	Shanghai	大学院生
China	Tsinghua University	Beijing	2年次以上
China	Xiamen University	Xiamen	2年次以上
China	Xi'an Jiaotong-Liverpool University	Suzhou	2年次以上
Taiwan	Fu Jen Catholic University	New Taipei City	2年次以上
Taiwan	National Chengchi University	Taipei	2年次以上
Taiwan	National Taiwan University	Taipei	2年次以上
Philippines	Ateneo de Manila University	Manila	2年次以上
Philippines	De La Salle University	Manila	2年次以上
Philippines	University of the Philippines	Quezon City	2年次以上
India	CHRIST (Deemed to be University)	Bangalore	2年次以上
Indonesia	IPB University	Bogor, West Java	2年次以上
Indonesia	Institut Teknologi Bandung	Bandung	2年次以上
Indonesia	Universitas Gadjah Mada	Yogyakarta	2年次以上
Indonesia	Universitas Indonesia	Depok, West Java	2年次以上
Indonesia	Petra Christian University	Surabaya, East Java	2年次以上
Indonesia	Sanata Dharma University	Yogyakarta	2年次以上
Malaysia	University of Malaya	Kuala Lumpur	2年次以上
Malaysia	Universiti Teknologi Malaysia	Johor Bahru, Johor	2年次以上
Malaysia	Universiti Kebangsaan Malaysia	Bangi, Selangor	2年次以上
Singapore	Singapore Management University	Singapore	2年次以上
Thailand	Chiang Mai University	Chiang Mai	2年次以上
Thailand	Chulalongkorn University	Bangkok	2年次以上
Thailand	Kasetsart University	Bangkok	2年次以上
Thailand	Mahidol University	Nakhonpathom	2年次以上
Thailand	Thammasat University	Bangkok	2年次以上
Vietnam	Foreign Trade University	Hanoi	2年次以上
Croatia	University of Zagreb	Zagreb	2年次以上

秋学期出発（学内選考の募集：前年の10月）			
所在国	大学名	所在地	留学可能年次 (P.73参照)
Croatia	Zagreb School of Economics and Management (ZSEM)	Zagreb	2年次以上
Cyprus	University of Cyprus	Nicosia	2年次以上
Czech	Anglo-American University	Prague	2年次以上
Czech	Charles University, Faculty of Arts	Prague	2年次以上
Denmark	Aarhus University	Aarhus	2年次以上
Estonia	University of Tartu	Tartu	2年次以上
Finland	Aalto University School of Business	Helsinki/Mikkeli	2年次以上
Finland	Hanken School of Economics	Helsinki	3年次以上
Finland	The University of Turku	Turku	2年次以上
France / Hungary	École Supérieure des Sciences Commerciales d' Angers	Angers/Budapest	3年次以上
France	ESSEC Business School	Cergy-Pontoise	3年次以上
France	Institut d'Etudes Politiques de Paris	Paris	3年次以上
France	Université Catholique de Lille	Lille	3年次以上
France	Université Paris-Dauphine	Paris	2年次以上
Hungary	Eötvös Loránd University	Budapest	2年次以上
Hungary	University of Pécs	Pécs	2年次以上
Iceland	University of Iceland	Reykjavik	2年次以上
Ireland	Dublin City University	Dublin	2年次以上
Italy	Università Carlo Cattaneo (LIUC)	Castellanza	2年次以上
Italy	Università Cattolica del Sacro Cuore	Milano	2年次以上
Italy	Università Ca' Foscari Venezia	Venezia	2年次以上
Lithuania	Vilnius University	Vilnius	2年次以上
Lithuania	Vytautas Magnus University	Kaunas	2年次以上
Luxembourg	Université du Luxembourg	Luxembourg	2年次以上
Netherlands	University of Amsterdam, Faculty of Social and Behavioural Sciences	Amsterdam	3年次以上
Netherlands	Leiden University	Leiden	2年次以上
Netherlands	Rotterdam Business School	Rotterdam	3年次以上
Norway	University of Oslo	Oslo	2年次以上
Norway	University of South-Eastern Norway	Kongsberg 他計8キャンパス	2年次以上
Poland	Jagiellonian University	Kraków	2年次以上
Poland	Warsaw University of Technology ※春学期出発もあり	Warsaw	理工学 研究科生
Romania	University of Bucharest	Bucharest	2年次以上
Slovenia	University of Ljubljana	Ljubljana	2年次以上
Spain	Universidad de Deusto	Bilbao	3年次以上
Spain	Universidad de Jaén	Jaén	3年次以上
Sweden	University of Gothenburg	Gothenburg	2年次以上
Sweden	Linköping University	Linköping	2年次以上
Sweden	Umeå University	Umeå	2年次以上
Sweden	Uppsala University	Uppsala	2年次以上
Switzerland	Franklin University Switzerland	Sorengo	2年次以上
Switzerland	Universität St. Gallen	St. Gallen	2年次以上

秋学期出発（学内選考の募集：前年の10月）			
所在国	大学名	所在地	留学可能年次 (P.73参照)
Switzerland	The Graduate Institute of International and Development Studies	Geneva	大学院生
Switzerland	Zurich University of Applied Sciences (ZHAW) ※春学期出発もあり	Winterthur	理工学 研究科生
Turkey	Istanbul Bilgi University	Istanbul	2年次以上
U.K.	Birkbeck, University of London	London, Greater London	2年次以上
U.K.	The University of Birmingham	Birmingham, West Midlands	2年次以上
U.K.	University of Bristol	Bristol	2年次以上
U.K.	De Montfort University	Leicester, Leicestershire	2年次以上
U.K.	University of East Anglia	Norwich, Norfolk	2年次以上
U.K.	The University of Edinburgh	Edinburgh, Scotland	2年次以上
U.K.	University of Hertfordshire	Hatfield, Hertfordshire	2年次以上
U.K.	University of Leeds	Leeds, West Yorkshire	2年次以上
U.K.	Newcastle University	Newcastle upon Tyne	2年次以上
U.K.	The University of Reading	Reading, Berkshire	2年次以上
U.K.	The University of Stirling	Stirling, Scotland	2年次以上
U.K.	The University of Sheffield	Sheffield, South Yorkshire	2年次以上
U.K.	St Mary's University, London	Twickenham, Greater London	2年次以上
U.K.	School of Oriental and African Studies, Univ. of London	London, Greater London	2年次以上
U.K.	York St John University	York	2年次以上
Canada	University of Alberta	Edmonton, Alberta	2年次以上
Canada	The University of Manitoba	Winnipeg, Manitoba	2年次以上
Canada	McGill University	Montreal, Quebec	2年次以上
Canada	The University of British Columbia	Vancouver, British Columbia	2年次以上
Canada	University of Regina	Regina, Saskatchewan	2年次以上
Canada	University of Victoria	Victoria, British Columbia	2年次以上
Canada	King's University College at the University of Western Ontario	London, Ontario	2年次以上
Canada	The University of Western Ontario	London, Ontario	2年次以上
Canada	York University	Toront, Ontario	2年次以上
U.S.A.	University of Arizona	Tucson, Arizona	2年次以上
U.S.A.	Bennington College	Vermont, Bennington	2年次以上
U.S.A.	Boston College	Chestnut Hill, Massachusetts	3年次以上
U.S.A.	Canisius College	Buffalo, New York	2年次以上
U.S.A.	Clemson University	Clemson, South Carolina	2年次以上
U.S.A.	University of Colorado at Boulder	Boulder, Colorado	2年次以上
U.S.A.	University of Connecticut	Storrs, Connecticut	2年次以上
U.S.A.	California State University, Fullerton	Fullerton, California	2年次以上
U.S.A.	The Catholic University of America	Washington, D.C.	2年次以上
U.S.A.	DeSales University	Center Valley, Pennsylvania	2年次以上
U.S.A.	Duquesne University	Pittsburgh, Pennsylvania	3年次以上
U.S.A.	George Mason University	Fairfax, Virginia	2年次以上
U.S.A.	Georgetown University	Washington, D.C.	2年次以上
U.S.A.	University of Georgia	Athens, Georgia	2年次以上

秋学期出発（学内選考の募集：前年の10月）			
所在国	大学名	所在地	留学可能年次 (P.73参照)
U.S.A.	Georgia Institute of Technology	Atlanta, Georgia	2年次以上
U.S.A.	Gonzaga University	Spokane, Washington	2年次以上
U.S.A.	Haverford College	Haverford, Pennsylvania	3年次以上
U.S.A.	University of Hawaii at Manoa	Honolulu, Hawaii	3年次以上
U.S.A.	College of the Holy Cross	Worcester, Massachusetts	3年次以上
U.S.A.	John Carroll University	Cleveland, Ohio	2年次以上
U.S.A.	Le Moyne College	Syracuse, New York	2年次以上
U.S.A.	University of Louisiana at Lafayette	Lafayette, Louisiana	2年次以上
U.S.A.	Loyola University Chicago	Chicago, Illinois	2年次以上
U.S.A.	Loyola Marymount University	Los Angeles, California	3年次以上
U.S.A.	Loyola University New Orleans	New Orleans, Louisiana	2年次以上
U.S.A.	Marquette University	Milwaukee, Wisconsin	2年次以上
U.S.A.	University of Miami	Coral Gables, Florida	2年次以上
U.S.A.	University of Minnesota	Minneapolis, Minnesota	2年次以上
U.S.A.	University of Missouri	Columbia, Missouri	2年次以上
U.S.A.	The University of Montana	Missoula, Montana	3年次以上
U.S.A.	The University of North Carolina at Chapel Hill	Chapel Hill, North Carolina	2年次以上
U.S.A.	University of North Carolina at Charlotte	Charlotte, North Carolina	2年次以上
U.S.A.	North Carolina State University	Raleigh, North Carolina	2年次以上
U.S.A.	University of North Florida	Jacksonville, Florida	2年次以上
U.S.A.	Northwest Missouri State University	Maryville, Missouri	2年次以上
U.S.A.	The University of Notre Dame du Lac	Notre Dame, Indiana	2年次以上
U.S.A.	Pace University	New York City, New York	3年次以上
U.S.A.	University of Pittsburgh	Pittsburgh, Pennsylvania	2年次以上
U.S.A.	University of Portland	Portland, Oregon	2年次以上
U.S.A.	Rose-Hulman Institute of Technology	Terre Haute, Indiana	2年次以上
U.S.A.	Saint Peter's University	Jersey City, New Jersey	2年次以上
U.S.A.	San Diego State University	San Diego, California	2年次以上
U.S.A.	University of San Francisco	San Francisco, California	2年次以上
U.S.A.	San José State University	San José, California	2年次以上
U.S.A.	Santa Clara University	Santa Clara, California	2年次以上
U.S.A.	University of California, Santa Cruz	Santa Cruz, California	3年次以上
U.S.A.	The University of Scranton	Scranton, Pennsylvania	2年次以上
U.S.A.	Seattle University	Seattle, Washington	2年次以上
U.S.A.	Seton Hall University	South Orange, New Jersey	2年次以上
U.S.A.	St. John's University	Queens, New York	3年次以上
U.S.A.	Saint Joseph's University	Philadelphia, Pennsylvania	2年次以上
U.S.A.	Saint Mary's College of California	Moraga, California	2年次以上
U.S.A.	St. Norbert College	De Pere, Wisconsin	3年次以上
U.S.A.	University of St. Thomas	St. Paul, Minnesota	2年次以上

秋学期出発（学内選考の募集：前年の10月）			
所在国	大学名	所在地	留学可能年次 (P.73参照)
U.S.A.	Suffolk University	Boston, Massachusetts	2年次以上
U.S.A.	Tennessee Tech University	Cookeville, Tennessee	2年次以上
U.S.A.	The University of Texas at Austin	Austin, Texas	2年次以上
U.S.A.	The New School	New York City, New York	2年次以上
U.S.A.	University of Massachusetts Amherst	Amherst, Massachusetts	2年次以上
U.S.A.	University of Massachusetts Boston	Boston, Massachusetts	2年次以上
U.S.A.	University of Virginia	Charlottesville, Virginia	3年次以上
U.S.A.	Washington and Jefferson College	Washington, Pennsylvania	3年次以上
U.S.A.	University of West Florida	Pensacola, Florida	3年次以上
U.S.A.	University of West Georgia	Carrollton, Georgia	2年次以上
U.S.A.	Winona State University	Winona, Minnesota	2年次以上
U.S.A.	University of Wisconsin-Madison	Madison, Wisconsin	2年次以上
U.S.A.	University of Wisconsin-Whitewater	Whitewater, Wisconsin	3年次以上
U.S.A.	Wittenberg University	Springfield, Ohio	2年次以上
U.S.A.	Xavier University	Cincinnati, Ohio	3年次以上
U.S.A.	York College of Pennsylvania	York, Pennsylvania	2年次以上
Egypt	Egypt-Japan University of Science and Technology	New Borg El-Arab City	2年次以上
秋学期英語集中コース対象校（学内選考の募集：前年の10月）			
Australia	Deakin University	Geelong, Victoria	2年次以上
U.S.A.	Creighton University	Omaha, Nebraska	2年次以上
U.S.A.	The University of Kansas	Lawrence, Kansas	2年次以上
U.S.A.	University of Mississippi	Oxford, Mississippi	2年次以上
U.S.A.	St. Mary's University, Texas	San Antonio, Texas	2年次以上

## ドイツ語

留学に必要とされる語学能力：

ドイツ語技能検定試験（独検）準1級（2007年度以前の独検2級）もしくはゲーテインスティトゥートのドイツ語検定試験B1以上に合格しているか、それと同程度のドイツ語能力

出願に必要な書類：ドイツ文学科・ドイツ語学科の学生は証明書不要  
上記以外の学科の学生は、次の①～③のいずれか1つを出願時に提出すること。

- ①ドイツ語技能検定試験（独検）準1級合格証明書
- ②ゲーテインスティトゥートのドイツ語検定試験B1以上の合格証明書
- ③ドイツ語能力を示す本学常勤教員による語学能力証明書

※協定校によっては上記にかかわらず出願に必要な語学要件・証明書がある。各協定校の語学要件等については、学内選考募集時の出願要項等を確認すること。 Loyola>ダウンロードセンター>グローバル教育センター>「交換留学募集要項・出願書類」

春学期出発のみ（学内選考の募集：前年の6月）			
所在国	大学名	所在地	留学可能年次 (P.73参照)
Austria	Universität Graz	Graz	3年次以上
Germany	Universität Bayreuth	Bayreuth	
Germany	Freie Universität Berlin	Berlin	
Germany	Technische Universität Berlin	Berlin	



春学期出発のみ(学内選考の募集：前年の6月)			
所在国	大学名	所在地	留学可能年次 (P.73参照)
Germany	Rheinische Friedrich-Wilhelms-Universität Bonn	Bonn	3年次以上
Germany	Hochschule Bremen	Bremen	
Germany	Katholische Universität Eichstätt-Ingolstadt	Eichstätt	
Germany	Europa-Universität Viadrina Frankfurt (Oder)	Frankfurt (Oder)	
Germany	Albert-Ludwigs-Universität Freiburg	Freiburg	
Germany	Martin-Luther-Universität Halle-Wittenberg	Halle	
Germany	Ruprecht-Karls-Universität Heidelberg	Heidelberg	
Germany	Heinrich Heine Universität Düsseldorf	Düsseldorf	
Germany	Universität zu Köln	Köln	
Germany	Hochschule für Wirtschaft und Gesellschaft Ludwigshafen	Ludwigshafen	
Germany	Hochschule für Philosophie München	München	
Germany	Technische Hochschule Nürnberg Georg Simon Ohm	Nürnberg	
Germany	Universität Paderborn	Paderborn	
Germany	Universität Rostock	Rostock	
Germany	Universität des Saarlandes	Saarbrücken	
Germany	Philosophisch-Theologische Hochschule Sankt Georgen	Frankfurt am Main	
Germany	Universität Trier	Trier	
Germany	Eberhard Karls Universität Tübingen	Tübingen	
Germany	Universität Witten/Herdecke	Witten	
Liechtenstein	Universität Liechtenstein	Vaduz	
Luxembourg	Université du Luxembourg	Luxembourg	
Switzerland	Universität St. Gallen	St. Gallen	

秋学期出発のみ(学内選考の募集：前年の10月)			
所在国	大学名	所在地	留学可能年次 (P.73参照)
France	Université d'Aix-Marseille	Aix-en-Provence	3年次以上
France	Université d'Angers	Angers	大学院生
France	Burgundy School of Business (旧 ESC Dijon)	Dijon	3年次以上
France	Université Catholique de l'Ouest, Angers	Angers	2年次以上
France	Université de Franche-Comté, Besançon	Besançon	2年次以上
France	Université Bordeaux Montaigne	Pessac	2年次以上
France	EAC Group Business School of Arts, Culture and Luxury	Paris	2年次以上
France	EXCELLA (IHESCEM Tours)	Tours	2年次以上
France	ESSEC Business School	Cergy-Pontoise	3年次以上
France	Institut Catholique de Paris (ICP)	Paris	2年次以上
France	Institut d'Etudes Politiques de Grenoble	Grenoble	2年次以上
France	Institut d'Etudes Politiques de Paris	Paris	3年次以上
France	Institut National des Langues et Civilisations Orientales (INALCO)	Paris	2年次以上
France	Université Catholique de Lille	Lille	2年次以上
France	Université de Lille	Lille	2年次以上
France	Université Catholique de Lyon	Lyon	2年次以上
France	Université Jean Moulin Lyon 3	Lyon	2年次以上
France	NEOMA Business School	Mont-Saint-Aignan	2年次以上
France	Université Panthéon-Assas Paris II	Paris	3年次以上
France	Université Paris-Dauphine	Paris	2年次以上
France	Université Paris X - Nanterre	Nanterre	2年次以上
France	Université Paul-Valéry Montpellier 3	Montpellier	2年次以上
France	Université de Strasbourg	Strasbourg	2年次以上
France	Institut Catholique de Toulouse	Toulouse	2年次以上
Luxembourg	Université du Luxembourg	Luxembourg	2年次以上
Switzerland	Université de Genève	Genève	3年次以上

## フランス語

留学に必要なとされる語学能力：  
フランス文学科・フランス語学科の3年次程度のフランス語能力、もしくはフランス文部省認定資格試験の DELF B1 以上、もしくは TCF B1 以上に合格、または仏検2級取得程度

出願に必要な書類：フランス文学科・フランス語学科の学生は証明書不要  
上記以外の学科の学生は、次の①～③のいずれか1つを出願時に提出すること。

- ① DELF B1 以上または TCF B1 以上の合格証明書
- ② 仏検2級合格証明書
- ③ フランス語能力を示す本学常勤教員による語学能力証明書

※協定校によっては上記にかかわらず出願に必要な語学要件・証明書がある。各協定校の語学要件等については、学内選考募集時の出願要項等を確認すること。  
Loyola > ダウンロードセンター > グローバル教育センター > 「交換留学募集要項・出願書類」

秋学期出発のみ(学内選考の募集：前年の10月)			
所在国	大学名	所在地	留学可能年次 (P.73参照)
Belgium	Université Catholique de Louvain	Louvain-la-Neuve	2年次以上
Belgium	Université de Namur	Namur	2年次以上
Canada	Université Laval	Québec City	2年次以上
Canada	Université de Montréal	Montréal	2年次以上

## イスパニア語

留学に必要なとされる語学能力：イスパニア語学科2年次修了程度のイスパニア語能力

出願に必要な書類：  
イスパニア語学科の学生は証明書不要だが、出発時までに「基礎イスパニア語IIA-2」および「基礎イスパニア語IIB-2」を修得しなければならない。決定後であっても、これを満たせない場合は決定を取り消す。  
イスパニア語学科の学生のうち、DELE B1以上の合格証明書を提出した者は、上記2科目の履修登録前の出発であっても出願することができる。ただし、出発時までに履修した専攻外国語科目を修得できなかった場合は決定を取り消す。

イスパニア語学科以外の学生は、次の①②のいずれか1つを出願時に提出すること。

- ① DELE B1 以上の合格証明書
- ② イスパニア語能力を示す本学常勤教員による語学能力証明書

※協定校によっては上記にかかわらず出願に必要な語学要件・証明書がある。各協定校の語学要件等については、学内選考募集時の出願要項等を確認すること。  
Loyola > ダウンロードセンター > グローバル教育センター > 「交換留学募集要項・出願書類」



春学期出発 (学内選考の募集：前年の6月)			
所在国	大学名	所在地	留学可能年次 (P.73参照)
Argentina	Universidad Católica de Córdoba	Córdoba	3年次以上
Argentina	Universidad del Salvador	Buenos Aires	
Chile	Universidad Alberto Hurtado	Santiago	
Chile	Pontificia Universidad Católica de Chile	Santiago	
Peru	Pontificia Universidad Católica del Perú	Lima	
Peru	Universidad del Pacifico	Lima	
Uruguay	Universidad Católica del Uruguay	Montevideo	
秋学期出発 (学内選考の募集：前年の10月)			
所在国	大学名	所在地	留学可能年次 (P.73参照)
Colombia	Pontificia Universidad Javeriana	Bogotá	3年次以上
Colombia	Universidad de los Andes	Bogotá	
Guatemala	Universidad Rafael Landivar	Guatemala City	
Mexico	El Colegio de México	Mexico City	
Mexico	Universidad de Guadalajara	Guadalajara	
Mexico	Universidad de Guanajuato	Guanajuato	
Mexico	Universidad Iberoamericana	Mexico City	
Mexico	Universidad Iberoamericana León	León	
Mexico	Universidad Nacional Autónoma de México	Mexico City	
Mexico	Instituto Tecnológico Autónomo de México	Mexico City	
Mexico	Instituto Tecnológico y de Estudios Superiores de Monterrey	Monterrey	
Mexico	Instituto Tecnológico y de Estudios Superiores de Occidente	Tlaquepaque	
Spain	Universitat Autònoma de Barcelona	Barcelona	
Spain	Universidad de Burgos	Burgos	
Spain	Universidad Pontificia Comillas	Madrid	
Spain	Universidad de Córdoba	Córdoba	
Spain	Universidad de Deusto	Bilbao	
Spain	Universidad de Granada	Granada	
Spain	Universidad de Jaén	Jaén	
Spain	Universidad de La Laguna	Canary Islands	
Spain	Universidad de Las Palmas de Gran Canaria	Canary Islands	
Spain	Universidad Loyola Andalucía	Córdoba	
Spain	Universidad Autónoma de Madrid	Madrid	
Spain	Universidad de Navarra	Pamplona	
Spain	Universidad de Salamanca	Salamanca	
Spain	Universidad de Sevilla	Sevilla	
Spain	Universitat de Lleida	Lleida	
Spain	Universitat de València	Valencia	
Spain	Universidad Católica de Valencia San Vicente Mártir	Valencia	

## ロシア語

留学に必要なとされる語学能力：ロシア語学科2年次修了程度のロシア語能力

出願に必要な書類：ロシア語学科の学生は証明書不要

上記以外の学科の学生は、ロシア語能力を示す証明書のコピーまたはロシア語能力を示す本学常勤教員による語学能力証明書を提出すること。

※協定校によっては上記にかかわらず出願に必要な語学要件・証明書がある。各協定校の語学要件等については、学内選考募集時の出願要項等を確認すること。

Loyola>ダウンロードセンター>グローバル教育センター>「交換留学募集要項・出願書類」

春学期出発 (学内選考の募集：前年の6月)			
所在国	大学名	所在地	留学可能年次 (P.73参照)
Belarus	Belarusian State University	Minsk	3年次以上
Belarus	Minsk State Linguistic University	Minsk	
Russia	Far Eastern Federal University	Vladivostok	
Russia	Moscow State University	Moscow	
Russia	Moscow State Institute of International Relations (University) of the Ministry of Foreign Affairs of the Russian Federation (MGIMO)	Moscow	
Russia	Petrozavodsk State University	Petrozavodsk	
Russia	Ryazan State University	Ryazan	
Russia	Saint-Petersburg State University of Culture	St. Petersburg	
Russia	Voronezh State University	Voronezh	
Uzbekistan	Tashkent State Institute of Oriental Studies	Tashkent	
秋学期出発 (学内選考の募集：前年の10月)			
所在国	大学名	所在地	留学可能年次 (P.73参照)
Kazakhstan	Al-Farabi Kazakh National University	Almaty	3年次以上
Russia	Herzen State Pedagogical University of Russia	St. Petersburg	
Russia	Moscow City University	Moscow	
Russia	Moscow State Linguistic University	Moscow	
Russia	Saint Petersburg State University	St. Petersburg	

## ポルトガル語

※1年留学のみ

留学に必要なとされる語学能力：授業についていけるポルトガル語能力

出願に必要な書類：ポルトガル語学科の学生は証明書不要

上記以外の学科の学生は、ポルトガル語能力を示す証明書のコピーまたはポルトガル語能力を示す本学常勤教員による語学能力証明書を提出すること。

※協定校によっては上記にかかわらず出願に必要な語学要件・証明書がある。各協定校の語学要件等については、学内選考募集時の出願要項等を確認すること。

Loyola>ダウンロードセンター>グローバル教育センター>「交換留学募集要項・出願書類」

春学期出発（学内選考の募集：前年の6月）			
所在国	大学名	所在地	留学可能年次 (P.73参照)
Brazil	Universidade de Brasilia	Brasilia	3年次以上
Brazil	Pontificia Universidade Católica do Rio Grande do Sul	Porto Alegre	
Brazil	Universidade de São Paulo	São Paulo	
Brazil	Pontificia Universidade Católica de São Paulo	São Paulo	
Brazil	Universidade Estadual de Campinas	Campinas	
秋学期出発（学内選考の募集：前年の10月）			
所在国	大学名	所在地	留学可能年次 (P.73参照)
China	University of Macau	Macau	3年次以上
Portugal	Universidade de Aveiro	Aveiro	
Portugal	Universidade Católica Portuguesa	Lisboa	
Portugal	Universidade de Coimbra	Coimbra	
Portugal	Universidade do Minho	Braga	
Portugal	Universidade do Porto	Porto	

## イタリア語

留学に必要とされる語学能力：授業についていけるイタリア語能力

出願に必要な書類：

イタリア語能力を証明する書類、または原則としてイタリア語を母語とする本学イタリア語常勤教員による語学能力証明書

※協定校によっては上記にかかわらず出願に必要な語学要件・証明書がある。各協定校の語学要件等については、学内選考募集時の出願要項等を確認すること。

Loyola>ダウンロードセンター>グローバル教育センター>「交換留学募集要項・出願書類」

秋学期出発のみ（学内選考の募集：前年の10月）			
所在国	大学名	所在地	留学可能年次 (P.73参照)
Italy	Università di Cagliari	Cagliari	2年次以上
Italy	Università Carlo Cattaneo (LIUC)	Castellanza	2年次以上
Italy	L'Università degli Studi di Napoli "L'Orientale"	Napoli	3年次以上
Italy	Università degli Studi di Perugia	Perugia	2年次以上
Italy	Università di Roma "La Sapienza"	Roma	2年次以上
Italy	Università Ca' Foscari Venezia	Venezia	2年次以上

## 韓国語

留学に必要とされる語学能力：授業についていける韓国語能力

出願に必要な書類：

韓国語能力を証明する書類、または原則として韓国語を母語とする本学常勤教員による語学能力証明書

※協定校によっては上記にかかわらず出願に必要な語学要件・証明書がある。各協定校の語学要件等については、学内選考募集時の出願要項等を確認すること。

Loyola>ダウンロードセンター>グローバル教育センター>「交換留学募集要項・出願書類」

春学期出発のみ（学内選考の募集：前年の6月）			
所在国	大学名	所在地	留学可能年次 (P.73参照)
South Korea	The Catholic University of Korea	Bucheon	3年次以上
South Korea	Catholic University of Daegu	Gyeongbuk	
South Korea	Hankuk University of Foreign Studies	Seoul	
South Korea	Hanyang University	Seoul	
South Korea	Pusan National University, College of Humanities	Busan	
South Korea	Seoul National University	Seoul	
South Korea	Sogang University	Seoul	
South Korea	Sookmyung Women's University	Seoul	
South Korea	Yonsei University	Seoul	

## 中国語

留学に必要とされる語学能力：授業についていける中国語能力

出願に必要な書類：

中国語能力を証明する書類、または原則として中国語を母語とする本学常勤教員による語学能力証明書

※協定校によっては上記にかかわらず出願に必要な語学要件・証明書がある。各協定校の語学要件等については、学内選考募集時の出願要項等を確認すること。

Loyola>ダウンロードセンター>グローバル教育センター>「交換留学募集要項・出願書類」

秋学期出発のみ（学内選考の募集：前年の10月）			
所在国	大学名	所在地	留学可能年次 (P.73参照)
China	Beijing Foreign Studies University	Beijing	2年次以上
China	Central University of Finance and Economics	Beijing	2年次以上
China	China Foreign Affairs University	Beijing	2年次以上
China	The Chinese University of Hong Kong (CUHK)	Shatin, Hong Kong	2年次以上
China	Dalian University of Technology	Dalian	2年次以上
China	Fudan University	Shanghai	2年次以上
China	Harbin Institute of Technology	Harbin	2年次以上
China	Nankai University	Tianjin	3年次以上
China	Peking University	Beijing	2年次以上
China	Renmin University of China	Beijing	2年次以上
China	Shanghai International Studies University	Shanghai	2年次以上
China	Tsinghua University	Beijing	2年次以上
China	Wuhan University	Wuhan	2年次以上
China	Xiamen University	Xiamen	2年次以上
China	University of Macau	Macau	2年次以上
Taiwan	Fu Jen Catholic University	New Taipei City	2年次以上
Taiwan	National Chengchi University	Taipei	2年次以上
Taiwan	National Taiwan University	Taipei	2年次以上

#### 個人情報保護について

上智大学の個人情報保護への取組みについては下記URLをご参照ください。

<https://www.piloti.sophia.ac.jp/jpn/info/privacypolicy/>

Please refer to the following URL on our approach to the Personal information protection.

<https://www.piloti.sophia.ac.jp/eng/info/privacypolicy/>

# 留学ハンドブック 2024

Handbook for Study Abroad 2024



上智大学公式HP Web Piloti「グローバル教育・留学」



## 留学ガイダンス

各回とも同内容（日本語）

① 4月10日（水）

② 4月12日（金）

③ 9月下旬

## 留学フェア

### Study Abroad Fair

第2クォーター実施 ※予定

Around 2<sup>nd</sup> Quarter ※Tentative

実施形態などの詳細はLoyola・X（旧Twitter）等でご案内します

2024年4月1日発行

編集・発行 上智大学グローバル教育センター（2号館1階）

Sophia University Center for Global Education and Discovery (1st fl, Bldg. No.2)

窓口時間 [授業期間]（月～金）10：00～11：30 / 12：30～15：30

[授業期間外]（月～金）12：30～15：30

〒102-8554 東京都千代田区紀尾井町7-1

<https://www.sophia.ac.jp/>

X @Sophia\_GoGlobal

Instagram @Sophia\_cged